

ナル乙者ニ別ニ刑ノ言渡ヲ爲シタルハ一月ニ判決ヲ受ケタル甲者ハ自己ノ判決ニ對シテ再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得ヘシ何トナレハ甲者ハ自己ノ受ケタル判決ノ誤謬ヲ證明スヘキ二月ニ下シタル乙者ニ對スル判決アレハナリ之ニ反シテ二月ニ判決ヲ受ケタル乙者ハ未タ自己ノ判決ノ誤謬ヲ證スヘキ判決ヲ有セサレハ再審ヲ爲スコトヲ得ヘカラス要スルニ本項ノ再審ハ判決ノ誤謬ヲ他ノ判決ヲ以テ證明スルハ限リ之ヲ許スモノナリ

然レ本項ノ理由ニ依リ再審ヲ爲ス裁判所ニ於テ事實ノ審判ヲ爲シ再審ハ其理由ナキモノニシテ原判決ノ如ク被告人ハ依然犯罪人ナリト認ス且他ニ共犯ナシト認ムルコトアル可シ此場合ニ於テハ二個ノ判決両立スルヲ得ス依テ二月ニ判決ヲ受ケタル乙者ヨリ再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得ヘシ何トナレハ新判決ニ依リテ原判決ノ誤謬ヲ證明スルコトヲ得レハナリ此再審ノ上乙者ニ對シ尙ホ二月ニ下シタル原判決ト同一ノ判決ヲ下シタル時ハ最早ヤ法律ハ之ヲ救助スルノ途ヲ與ヘス然レハ兩立スヘカラル判決ノ兩立ヲ免カレス

第三、犯罪アル以前ニ作リタル公正證書ヲ以テ當時其場所ニ在ラサルコトヲ證

明シタルハ第三條第三項ニ依リテ犯罪ノ成立ニ關係セザルモノアリ彼ノ詐欺取財罪文書偽造罪ノ如キ犯人其場所ニ非サルモ其罪ヲ構成スルコトアリ故ニ犯人其當時犯罪ノ場所ニアリシトテ無罪ノ理由トハナラス從テ原裁判所ノ誤謬ヲ證明スル再審ノ理由トナラス然レハ殺人罪放火罪毆打創傷罪等ノ如キ罪ニ至リテハ定マリタル場所ニ於テ犯スモノナレハ犯人現ニ其犯罪ノ場所ニアラザリシコトハ犯罪ノ成立ヲ妨ケ無罪ノ原因タリ故ニ被告人ヨリ犯罪ノ當時他ノ場所ニアリシコトヲ證明スル時ハ當然無罪ノ結果ヲ得ルニ至ル今被告人ハ辯論ノ時ニ當リテ當時其場所ニ不在ナリシコトヲ主張セザリシカ又ハ之ヲ主張シタルモ其確證ヲ舉ケザリシ爲メニ遂ニ有罪ノ判決ヲ得後日ニ至リ其證據ヲ發見シタル時ハ之ヲ以テ再審ノ理由ト爲スコトヲ得如何トナレハ其當時他ニアリシコトヲ證明スル以上ハ原判決ノ誤謬ヲ推測スヘキ充分ナル價值アルヲ以テナリ

本項ノ犯罪ノ場所ニアラザリシコトヲ證明スルニハ如何ナルモノヲ以テスル



三九六

ヲ得ルヤ法律ハ之ヲ證スル凡テノ證據ヲ以テスルコトヲ許サス公正證書ノ  
 ミニ限レリ而シテ其公正證書ハ犯罪事件以前ニ作製シタルモノナルコトヲ要ス  
 蓋シ諸般ノ證據就中證人ヲ許ス時ハ甚タ危險ニシテ偽證ヲ爲スノ恐アルヲ  
 以テ法律中ニ於テ尤モ證據力アル公正證書ニ限レルナリ又公正證書ハ之ヲ  
 作爲スルハ官吏ニ相違ナキモ或ハ被告ヨリ間接ニ之ヲ作ラシムルノ恐アリ  
 テ犯罪後ニ作リタルモノハ充分ノ證據力ヲ有セシムル能ハス故ニ犯罪以前  
 ニ作製シタル公正證書ナルヲ要ス實際再審ノ理由アリトシテ採用セラレタ  
 ル公正證書ハ監獄署ノ帳簿等ヲ以テ許多ナリトス原判決カ犯罪アリタリト  
 認メラレ年月日ニハ被告ハ他ノ犯罪ニヨリテ監獄署内ニアリテ其犯罪ノ場  
 所監獄署外ニアラザリシヲ其監獄署官吏ノ作リタル帳簿ヲ以テ證明スル時  
 ハ再審ノ理由アリトスハ其證據力ハ甚ダニシテ再審ノ理由アリ  
 公正證書ヲ以テ當時其場所ニアラザリテ證明シタル時ハ再審ノ理由アリ  
 ト爲ス而シテ其場所タルヤ刑ヲ受ケタル者ヲシテ犯罪人ニ非ス下爲スニハ犯  
 罪ノ場所ヨリ遠隔ノ場所ニアルコトヲ必要トス現ニ其犯罪ノアリタル場所ニ

三九七

在ラザリシト雖モ其場所ヨリシテ犯罪ヲ爲スコトヲ得キ距離ニアルハ犯  
 罪ノ必スシモ其尺ニ非サルコトヲ證明スルヲ得ス而シテ法文ニモ當時其場所ニ  
 在ラザリシトアリ故ニ其場所ト時トハ密着ノ關係ヲ有スルモノナリ例ヘハ  
 犯罪ノ場所ヨリ遠隔ノ地ニアルコトヲ證明シタル時ト雖モ其場所ト又犯罪ノ  
 場所トノ間ハ僅少ノ時間ヲ以テ往復スルコトヲ得ル場合ニ於テハ如何ニ公正  
 證書ヲ以テ犯罪ノ場所以外ニ在リシコトヲ證明スルモ全ク犯人ニ非スト推定  
 スルコトヲ得サルモノトス横濱ニ於テ午前一時ニ犯罪アリテ其被告人トナリ  
 刑ニ處セラレタルモノカ其日ノ午後十一時又ハ十二時ノ間ニ於テ東京ノ或  
 ル官廳ニ出頭シタルコトヲ證明スルト雖モ以テ其當時犯罪ノ場所ニ在サルノ  
 證明ト爲スコトヲ得ス故ニ再審ノ理由タラス要スルニ其理由トナルヤ否ヲ判  
 定スルハ裁判所ノ判定權ニ屬スルモノニシテ再審ノ訴ヲ受理スルノ權アル  
 上告裁判所ノ判定ニ一任スル所ノモノナリ  
 又其犯罪ノ時ハ精確ニ知ルコト能ハサル時ト雖モ以テ罪ノ成立ヲ認ムルコトヲ  
 妨ケサルナリ例ヘハ東京ニ於テ二月一日ニ於テ一ノ斬殺セラレタル死体ヲ



三九八

發見シタルハ其犯罪ハ發見ノ日ニ於テ行フタルヲ認定セスト雖モ一月廿九日ニハ其被害人ノ生存スルヲ見タル人アリ又醫師ノ死体鑑定ニ依ルハ殺害セラレタルヨリ二三日ヲ經過シタルモノナリトスル時ハ其殺人犯ハ一月廿九日ヨリ三月一日ノ間ニアリタルモノトシテ以テ處斷スルヲ得ヘシ其處斷ニヨリテ刑ヲ受ケタル被告人カ二月廿九日ヨリ二月ノ二日迄ニ實際往復スルヲ得サル場處ニアリシヲ證明スルニ於テハ再審ノ原由アリトス若シ名護屋ニアリ或ハ大坂ニアリト云フカ如ク此間ニ汽車ノ便ニヨリテ充分ニ往復スルヲ得ル場所ナルハ以テ再審ノ原由アリトセス以上見ル如ク本項ノ再審ノ原因ハ凡テノ刑ノ言渡ニ對シテ適用ヲ見ルヲ得ス定マリタル時ト場處トニ於テ犯シタル罪ニ對シテ言渡シタル判決ニ付テノミ之ヲ原由トスルヲ得テ先キニ述ヘタル如ク詐欺取財罪文書偽造罪ノ如キハ其場所ニ關係ナキ故ニ此原因ハ適用セラルヘモノニ非ス如何トナレハ如何ナル遠隔ノ地ニアルモ之ヲ犯スヨリ得ルモノナリハナリ然ルニ法律ハ犯罪ノ性質ニヨリテ區別ヲ爲サス然レモ元來此再審ノ原因ハ原判決ノ誤認

ヲ公正證書ヲ以テ證明シタル場合ナリ然ルニ當時其場所ニ非サルモ犯スルヲ得ル罪ナル時ハ如何ニ公正證書ヲ以テ不在ヲ證スルモ原判決ノ誤認ヲ證明スルコト能ハス故ニ理論上此等ノ犯罪ニハ之ヲ許サ、ルナリ例ヘハ誣告罪ノ如キ原判決ニ於テハ何年何月何日ニ何某ノ罪ヲ誣告セタルモノト認メテ刑ヲ言渡シタルニ其認メタル年月日ニハ其被告人ハ誣告ヲ受ケタル官廳ニ行キタルコトナク遠隔ナル土地ニアリシヲ證明シタル時ニテモ決シテ之ヲ以テ罪ナクシテ原判決カ罪ナキモノニ向ツテ刑ヲ言渡シタルモノナルヲ證スルコト能ハス何トナレハ被告人ハ自ラ官廳ニ行カサルモ種々ノ方法ヲ以テ訴狀ヲ官廳ニ送達スルヲ得ルモノナレハナリ此再審ノ原因トナリ得ルハ犯罪ノ性質上定マリタル時及ヒ場處アルモノニ限ル故ニ治罪法草案ニハ定マリタル時及ヒ場處トニ於テ犯シタル罪ニ限ルト明記セリ治罪法及ヒ刑事訴訟法ニ於テハ其明文ナシト雖モ精神ハ一ナリ

第四、被告人ヲ陷害シタル罪ニヨリ刑ノ言渡ヲ受ケタルモノアリタルハ第一

條第

第六編 再審

三九九



甲者アリ或ル犯罪ニテ刑ニ處セラレ後チ乙者ハ甲者ヲ陷害シタルノ罪アリトシテ刑ニ處セラレタルハ甲者ハ無罪ノモノニシテ其刑ヲ言渡シタル裁判ニ誤認アリトセサルヘカラス何トナレハ陷害ト云ヘハ即チ甲者ノ無罪ナリシコト及ヒ乙者ノ所爲ニヨリ裁判所ヲシテ錯誤ニ陥ラシメタルコトヲ證明スレハナリ故ニ其乙者ニ對スル裁判ハ以テ甲者ニ對スル裁判ノ誤判ナルコトヲ明ニスルノ確證ニシテ之ヲ以テ再審ヲ請求スルコトヲ得ヘキナリ然レモ乙者ニ對スル判決ヲ以テ再審ヲ爲スニハ其判決ノ確定シタル後ナルコトヲ要ス未タ確定セサル間ニ在リテハ或ハ上訴ニ依リテ消滅シ乙者カ甲者ヲ陷害シタルノ事實ハ嘗テナキモノニ歸シ甲者ニ對スル判決ノ誤認ヲ證明スルノ力ヲ有セサルヤモ知ルヘカラス故ニ他ノ判決ノ誤認ヲ證明シ再審ノ原由ト爲スコトヲ得ヘキ判決ハ確定判決ナルコトヲ要ス獨リ本項ノ場合ハミナラス第二項ノ同一事件ニ付キ共犯ニ非スシテ別ニ刑ノ言渡ヲ受ケタル者アルハ於テモ亦同一ナリ故ニ誤認アリトシテ再審ヲ請求スルコトヲ得ヘキナリ然レモ甲者アリ乙者ニ恨ミアルヲ以テ乙者ハ或ル罪ヲ犯シタルト告訴シ其告訴ニ

因リテ乙者ニ對シ刑事ノ訴訟起リ遂ニ裁判所ハ乙者ヲ有罪ナリト認メ刑ヲ宣告シタリ然ルニ其後ニ至リ甲者カ不實ノ告訴ヲ爲シタル事發露シ甲者ハ誣告ノ罪アリトシテ處罰セラレタリ刑法第三百五十七條ニ依レハ誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタルハ誣告者ヲ其刑ニ反坐スルモノトス其誣告ヲ爲シタル甲者ハ刑事訴訟法第三百一條第四ノ所謂被告人ヲ陷害シタルモノナルカ抑告訴ハ檢事ヲシテ起訴セシムルノ力アリト雖モ其起訴ヲ受ケタル裁判所ヲ拘束スルモノニ非ス故ニ裁判所ハ告訴アリト雖モ有罪ト認ムヘキ證憑ナキハ無罪ヲ言渡スヘシ其無罪ノ場合ト雖モ誣告罪ハ成立スヘシ然ラハ誣告ノ結果有罪ノ判決アリシト雖モ誣告ハ直接ニ被告人ヲ罪ニ陥ルニ非スシテ有罪ト認ムルニ至ラシメタルモノハ他ノ證據ナリト云フヘシ故ニ乙ナル被告人誣告ノ爲メ刑ノ言渡ヲ受ケ誣告タルコト發覺シテ甲ニ刑ヲ言渡シタリト雖モ之ヲ以テ直チニ乙者ノ無罪ナル確證トハナスヲ得ス二個ノ裁判併立スルコトヲ得ヘシ然レモ誣告者ハ其意思ヲ貫徹セシメシカ爲メ虛偽ノ書類其他ノ證據物件ヲ作爲シテ告訴ニ附添シ其書類若クハ物件ハ遂ニ裁



判所ノ採用スル所トナリテ被告人刑ニ處セラレタルハ誣告ハ直接ニ被告  
 人ヲ罪ニ陷レタルモノト謂フヲ得ヘシ此場合ニ於テ誣告ノ發覺シ誣告者  
 刑ニ處セラレタルハ其刑ヲ言渡シタル判決ハ以テ誣告セラレタル者ノ無  
 罪ヲ證明スルコトヲ得ヘク二個ノ判決併立スルコトヲ得サルヲ以テ再審ノ原由  
 トナルヘシ故ニ誣告ニ因リ被告人刑ニ處セラレタル後チ誣告罪ノ處斷アリ  
 シハ常ニ再審ノ原由アリトスルヲ得ス誣告ニ因リ且誣告者ノ作成シタル  
 虛偽ノ證據ニ因リテ被告人刑ニ處セラレタル後チ誣告者刑ノ言渡ヲ受ケタ  
 ルハニ再審ノ原由アルモノトス

被告人ヲ陷害スル爲メ證人トシテ虛偽ノ證言ヲ爲シ刑法第二  
百二十條又ハ鑑定人若  
 クハ通事トシテ詐僞ノ陳述ヲ爲シタルハ全第二  
百二十條ハ其證人鑑定人又ハ通事  
 ハ偽證者トシテ處罰セラル、モノナリ然レ其偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セ  
 ラレタル場合ト刑ニ處セラレサル場合アリ偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレ  
 タルハ即チ裁判所ニ於テ其偽證ヲ以テ被告人ノ有罪ナル證憑トナシタル  
 場合ナリ裁判所ハ其偽證ノミヲ證據トシタルニ非ス他ノ證據ヲモ採用シタ

ルナルヘシト雖モ既ニ偽證ヲ有罪ノ證據トナシタル以上ハ他ノ證據ト偽證  
 トノ間ニ輕重ヲ置ク能ハス偽證ハ直接ニ被告人ヲ罪ニ陷レタルモノナリト  
 ス故ニ其偽證タルコトノ判決ニ依リテ明白スルハ其判決ト異ニ被告人ノ受  
 ケタル判決トハ兩立スルコトヲ得サルヲ以テ再審ノ原由アリトス之ニ反シ證  
 人鑑定人又ハ通事偽證ヲ爲シ其罪ニヨリ刑ニ處セラル、ト雖モ原判決ハ其  
 偽證ヲ採用セス從テ被告人刑ニ處セラレサル場合ニ於テハ再審ノ原因アリ  
 ト云フヲ得ス何トナレハ其偽證ハ毫モ原判決ニ影響ヲ及ホサス偽證ノ爲メ  
 ニ刑ノ言渡ヲ受ケタルモノナケレハナリ再審ノ理由アリト爲ルニハ本條ニ  
 明記スル如ク被告人ヲ陷害シタル罪ニヨリ刑ノ言渡ヲ受ケタル者アルヲ要  
 スルモノナレハ偽證者カ其犯罪發覺シ爲メニ反座ノ刑ニセラレタル場合ナ  
 ラサルヘカラス

刑法第二百二十五條ニ賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐僞ノ  
 鑑定通事ヲ爲サシメタル者ハ亦偽證ノ例ニ同シトアリ故ニ其囑託ヲ受ケ  
 偽證ヲ爲シ其結果被告人ヲ罪ニ陷レ後チ偽證者刑ヲ受ケタルハ再審ノ理



由トナルヲ前述ノ如シト雖モ若シ偽證ヲ爲シタル者其罪發覺前ニ死亡シ囑  
託者ノミ刑ニ處セラレタル時ハ再審ノ原因アルモノナルヤ偽證ノ發覺シ  
囑託者ハ刑法第二百二十條ニ依リ處刑ヲ受ケタルキハ被告人ハ偽證ノ爲メ  
罪ニ陷レラレタルヲ明白ナルヲ以テ再審ノ理由アリトス若シ偽證ヲ囑託シ  
タルマテニシテ受託者偽證ヲ爲サス或ハ偽證ヲ爲シタルモ裁判所ニ於テ之  
ヲ採用セザリシキハ囑託者ノ處刑ハ再審ノ理由トナラス何トナレハ偽證ノ  
爲メ陷害セラレタルモノナケレハナリ

被告人ニ對シテ恨ミアル者陷害ノ意ヲ以テ判事ニ賄賂ヲ爲シ判事ハ其賄賂  
ヲ收受シテ故ラニ被告人ヲ罪ニ陷レタル時ハ刑法第二百八十六條ニ依リテ  
處罰セラレ判事被告人ヲ陷害シタルキハ正當ナル有罪ノ證ナクシテ處罰シ  
タル場合ナルヲ明ナリ然ラハ其陷害ノ事實ヲ認メ判事ニ刑ノ言渡ヲ爲シタ  
ル時ハ其判決ト陷害セラレタル人ノ受タル判決トハ併立スルヲ得ス無罪  
ノ確認アルヲ以テ再審ノ理由ト爲スヲ得ヘシ

官文書偽造罪ニ依リ被告人不實ノ罪ニ陷リタル時モ亦再審ノ原因トナルモ

ノナリ例ヘハ裁判所ノ官吏カ判決ノ證據トナル可キ調書其他ノ書類ヲ偽造  
シ其目的被告人ヲ陷害スル爲メナル時ハ官文書偽造罪トシテ處斷セラルヘ  
ク恰モ偽造ト同一ノ權衡ニ出ツルト雖モ直接被告人ヲ陷害シタルニ非サル  
ヲ以テ本號ヲ適用シテ再審ノ理由ト爲スヲ得ス第五ノ原因アリトシテ再  
審ヲ爲スヲ得ヘシ

然レモ刑法第二百八十七條ニ明記セル如ク裁判官檢察官官吏收賄ノ所爲  
ナシト雖モ被告人ヲ陷害シ其罪ニ對スル判決アリタルキハ二個ノ判決併立  
スルヲ得ス被告人ノ無罪明白ナルヲ以テ再審ノ原由アリトス

第五、公正證書ヲ以テ訴訟記録ニ偽造又ハ錯誤アルヲ證明シタルキ第三條第  
百

五

再審ハ罪ノ有無刑ノ輕重ニ關シ原判決ニ誤謬アル場合ニ爲スヲ得可キモ  
ノナリ今判決ノ基本タル訴訟記録ニ偽造又ハ錯誤アリトセンカ其判決ノ認  
メタル罪若クハ言渡タル刑ノ輕重ニ付キ誤謬アリトスルヲ得可キヲ以テ再  
審ノ原因アリト爲ス而シテ其誤謬ヲ證明スルニハ公正證書ヲ以テスルヲ必



要ナリトス訴訟記録ハ凡テ公正證書ナリト云フニハアラサルモ己ニ原裁判所ノ採リテ判決ノ材料ト爲シタルモノナレハ多少公正ノ資格ヲ有スルモノナルヲ以テ之ニ對シ偽造又ハ錯誤ヲ證明スルニハ同等以上ノ證憑力ヲ有スルモノ即チ公正證書ヲ以テセサルヘカラス

先ツ訴訟記録ニ偽造アル場合ヲ講究センニ前段ニ講述シタル調書其他訴訟記録ヲ裁判所官吏ニ於テ偽造シタルヲアリテ官文書偽造罪ニ處セラレタル時ハ其偽造ナルヲハ偽造罪ノ刑ヲ言渡シタル裁判ヲ以テ證明スルヲ得ルノミナラス他ノ公正證書ヲ以テ證明スルヲ得又其他ノ公私文書ニシテ原判決ノ材料ニ供セラレ後日偽造文書ナルヲ發見シタル時ハ偽造罪ヲ處斷シタル判決書其他ノ公正證書ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得戶籍簿ノ如キハ訴訟ノ爲メニ作りタル書類ニ非サルモ其謄本ヲ以テ訴訟記録ト爲スヲアリ若シ其戶籍簿又ハ謄本カ偽造ニ係ルモノナル時ハ之ヲ證明シテ以テ再審ノ原因ト爲スヲ得

訴訟記録ニ錯誤アル場合ヲ見ンニ元來此錯誤ハ惡意ニ出テタルモノニ非サ

レハ其之ヲ證明スヘキ裁判書アル場合ハ極メル稀ナラン固ヨリ此項ノ場合ハ總テ公正證書ヲ以テ證明スルヲ得ヘケレハ判決書ノ有無ハ問フヲ要セス例ヘハ裁判ノ當時村役場ニ付テ被告ノ年齢ヲ取調ヘタルニ其戶籍簿ニ誤謬アリタル爲メニ被告人ヲ丁年者ナリトシ裁判ハ之ニ依リテ言渡シタリ然ルニ其後ニ至リ正當ニ手續ヲ以テ戶籍簿ヲ訂正シ從テ被告ハ犯罪ノ當時丁年者ニ非サルコトナリタルハ村長其他公吏ノ資格アルモノヨリ舊戶籍ノ誤謬ヲ證明スルニ於テハ記録ノ誤謬明白ナルヲ以テ再審ノ原因トナスヲ得

此訴訟記録ト稱スルハ專ラ原判決ノ基本トナリタル記録ヲ指稱スルモノナリト雖モ原判決書モ之ニ包含セスト斷言スルヲ得ス判決書其モノ、錯誤ハ乃チ原判決ノ錯誤ニシテ再審ノ原由ハ之ヲ證明スルモノナレハ其證明ノ材料ハ判決以外ニ非サルヘカラス判決自体ノ錯誤ハ判決權ノ證明シ得ル所ニ非ス但シ錯誤ノ場合ニ於テモ他ノ判決書ニシテ此判決ノ材料トナリタルモノハ本項ノ所謂訴訟記録ト云フヲ得ヘシ何トナレハ其材料トナリタル判決ノ錯誤ヲ以テ此判決ノ誤謬ヲ證明スルヲ得レハナリ



然レモ偽造ノ場合ニ於テハ判決ヲ包含セストノ論定ヲ下ストヲ得サル場合アリ例ヘハ判決書カ裁判所吏員ノ偽造ニ係ルキノ如キハ其偽造ヲ理由トシテ再審ヲ許サ、ルヘカラス否ラサレハ其誤判ハ之ヲ更正スルノ途ナカルヘシ或ハ云ン此場合ハ第三百一條第四ノ被告人ヲ陷害シタル罪ニ因リ刑ノ言渡ヲ受ケタル者アリタルキニ適合シ其理由ヲ以テ再審ヲ爲ストヲ得ヘシト判事檢察事若シ此偽造ヲ爲シタルキハ或ハ論者ノ説ノ如ク刑法第二百八十七條ノ所謂被告人ヲ陷害シタルモノトシテ第四ノ理由ヲ以テ再審ノ訴ヲ爲スヲ得ヘキモ若シ裁判所書記ニ於テ判決書ヲ偽造シタルキハ右刑法ノ法條ヲ適用スルヲ得ス何トナレハ其罪ハ官文書偽造ニシテ人ヲ陷害シタルノ罪ニ非サレハナリ故ニ第四ノ理由ヲ以テ再審ノ訴ヲ爲ストヲ得ス法文上ヨリ斯ノ如クナルノミナラス第三百一條ノ第四號ト其第五號ヲ比較スルニ第四號ノ理由ハ刑ノ言渡ヲ以テ唯一ノ證明トナシ第五號ハ訴訟記録ノ偽造ヲ證明スルニ其證據ハ公正證書タル以上ハ如何ナル證書ヲ以テスルモ再審ノ理由アリトス例ヘハ戸籍ノ謄本ヲ偽造シテ村役場ヨリ裁判所ニ送付シ裁判所ハ

之ヲ採リテ判決ノ基本トナシタルキハ種類ノ如何ヲ問ハス苟モ公正證書ニシテ偽造タルコトヲ證明スルモノアレハ以テ再審ノ理由アリトス最モ重大ナル判決書ノ偽造ニ至リテハ明確ナル公正證書アルモ再審ヲ許サス唯一ニ偽造者ヲ處罰シタル判決書アルキニ限ルトセハ其間不權衡モ亦甚シ若シ偽造者處罰ヲ受クル以前ニ死亡センカ遂ニ再審ヲ求ムルヲ得ズ被告人ハ其冤ヲ雪クノ時ナカルヘシ豈是レ法律ノ精神ナランヤ判決ノ基本トナリタル記録ニ偽造アレハ再審ヲ爲シテ公明ノ判決ヲ爲シ以テ被告人ニ冤ナカラシム況ヤ其判決書自体カ偽造ナルニ於テヤ必ヤ再審ヲ許サ、ルヘカラス故ニ第三百一條第五ノ訴訟記録トアルハ錯誤ヲ證明スル場合ニ於テハ判決書ヲ包含セスト雖モ偽造ヲ以テ理由トスル場合ニ於テハ之ヲ包含スルモノトス公判始末書ハ訴訟記録ノ一ナリト雖モ第三百一條第五ノ訴訟記録中ニハ包含セス何トナレハ公判始末書ハ公判廷ノ形狀ヲ寫シ出スニ止マリ其錯誤ハ以テ判決ニ影響ヲ及ボサ、レハナリ只始末書ト判決書ト組斷ヲ來ストアルヘシ其組斷ヲ以テ再審ノ理由トナスコトヲ得ス



第六、判決ノ憑據ト爲リタル民事上ノ判決他ノ確定ト爲リタル判決ヲ以テ廢棄若クハ破毀セラレタルハ第三百一十六條

刑事ノ判決ニシテ民事上ノ判決ヲ證憑トスル場合アリヤ例ヘハ家資分散又ハ破産ノ場合ニ於テ財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虛偽ノ負債ヲ増加シタル場合ニ於テ之ヲ一ノ犯罪ナリトスルニハ家資分散又ハ破産ノ事實ヲ以テ此犯罪構成ノ要素トス故ニ其分散又ハ破産ヲ言渡シタル民事又ハ商事ノ判決ヲ以テ證憑ト爲ス又偽造證書ノ行使ノ如キモ裁判所之ヲ行使シタリトシテ證據トシテ民事上ノ判決ヲ採用スルコトアリ然ルニ是等民事上ノ判決カ後日他ノ判決ヲ以テ廢棄若クハ破毀セラレ依テ消滅ニ歸シタル時ハ其嘗テ刑事裁判所カ因リテ以テ犯罪ノ材料ト爲シタル證據ハ遂ニ根基ヲ失シテ空無ニ歸シ從テ判決モ亦誤謬ナリト推定スルコト得可シ故ニ其廢棄若クハ破毀ヲ言渡シタル判決ヲ以テ再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得

定ナラス却テ其證據トナリタル判決カ正當ナルコトアルモ知ルヘカラサレハナリ  
本項ハ原判決ノ基本ト爲シタル書類カ其力ヲ失フタルニヨリテ再審ヲ許スモノナレモ前項ノ訴訟記録ニ於ケル如ク證據トナリタル判決ニ偽造若クハ錯誤アリトスルニ非ス其判決カ當ヲ得サリシ場合ナリ  
以上六個ノ理由ノ外法律ハ再審ノ訴ヲ許サス事實ニ於テハ或ハ右六個ノ場合ト殆ト同一ニ原判決ノ誤謬ヲ證明スルノ場合アランモ誤判ヲ證明スル材料ハ法律自ラ之ヲ斷定シ且之ヲ明言シ執法者ノ事實ニヨリテ證明シ得タリトスルヲ許サス是レ六個ノ材料ニ限レル所以ナリ  
第三百一條ニ掲ケタル六個ノ場合ハ刑ノ言渡ニ對スル再審ノ原因ナリ故ニ私訴ノミニ誤判アリトシテ以上ノ原因ノ一ヲ掲擧スルモ以テ再審ノ訴ヲ爲ストヲ得ス而シテ刑ノ言渡ニ付テ再審ノ原因ヲ認メタル時ハ私訴ノ判決ハ公訴ノ判決ヲ破毀スルト同時ニ破毀スルコトアルモ是レ公訴判決ヲ破毀スルノ結果タルニ過キス決シテ私訴ノミ獨立シテ再審ヲ許スモノニ非ス故ニ私訴判決ノミニ



對スル時ハ民事訴訟法ニ於テ民事裁判所ニ再審ノ訴ヲ爲スヘキモノナリ

第三節 再審ノ訴ヲ爲スル得ル者

第三百二條ニヨレテ再審ノ訴ハ左ノ數個ノ人ヨリ爲スコヲ得

第一、刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事

再審ハ凡テ被告人ノ利益ノ爲メニシテ刑ヲ重クスルコ

ヲ請求スル爲メニ之ヲ爲スモノニ非ス然ルニ檢事ハ獨リ公益ノ爲メニ刑ノ

適用ヲ求ムルモノニ非スシテ被告人ノ利益ヲモ保護ス故ニ今裁判ヲシテ其

當ヲ失ハシテ冤罪ノ者アル時ハ檢事ハ法律ニ從テ再審ヲ請求スルノ責務ヲ

負フモノナリ

第二、刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ヲ管轄スル控訴裁判所ノ檢事

刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ヲシテ再審ヲ爲スコヲ許スト雖モ法律ハ

獨立ヲ以テ被告人ノ利益ヲ保護スルニ充分ナリトセス其檢事ヲ管轄セル控

訴裁判所檢事ニモ亦再審ノ訴ヲ爲スノ權利ヲ與ヘタリ

第三、刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ヲ管轄スル上告裁判所ノ檢事但シ司法大臣

ノ命ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其訴ヲ爲スヘシ

刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ヲ管轄スル上告裁判所ノ檢事モ亦自ら再審ノ訴

ヲ爲スコヲ得蓋シ此檢事ハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事及ヒ其裁判所

ヲ管轄スル控訴裁判所ノ檢事ヲモ制度上管轄スルモノナルカ故ニ此權利ヲ

有スルモノナリ而シテ此檢事ハ司法大臣ノ命又ハ職權ヲ以テ再審ノ訴ヲ爲ス

モノナリ司法大臣ハ常ニ司法行政ノ全体ニ付テ管轄スルモノナルヲ以テ諸

般ノ報告ヲ以テ再審ノ理由ヲ發見スルコアルヘシ然レモ自ら再審ノ訴ヲ爲

スノ權ヲ有スルモノニ非ズレバ上告裁判所ノ檢事ニ命シテ再審ノ訴ヲ爲サ

シ司法大臣ノ命ナシト雖モ上告裁判所ノ檢事ハ自己ノ職權ヲ以テモ再審

ヲ爲スコヲ得ルナリ

第四、刑ノ言渡ヲ受ケタル者

再審ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲メニ許スモノナレバ其本人ヨリ之

ヲ爲スコヲ得ルハ當然ナリトス上訴通則ヲ見ルニ上訴ハ獨リ被告人ノミナ

ラス辯護人又ハ法律上ノ代理人ヨリモ之ヲ爲スコヲ得ルモノト爲シタリ然



ルニ再審ハ上訴ニ非サルヲ以テ上訴通則ノ規定ヲ適用スルヲ得ス而テ法律  
 ハ再審ヲ爲スコヲ得ヘキ者ニ付テ辯護人又ハ法律上代理人ヲ明記セス被告  
 事件カ第一審ヨリ第三審ニアル間ハ辯護人ノ資格自ラ繼續スルモ既ニ刑ノ  
 確定シタル以上ハ最早辯護人ナルモノアルコトナシ故ニ辯護人ヨリ再審ノ訴  
 ヲ爲スコヲ得ナルハ其理由アリ然レモ法律上ノ代理人ニ至リテハ常ニ存在  
 スルモノ故被告ノ身ニ關シ其財産ニ付キ利益ヲ保護スルノ責任アルモノ  
 ナレハ再審ノ訴ヲ許サ、ルノ理由ナシ然レモ法律ニ明記ナキ以上ハ執法者  
 ノ擅ニ之ヲ許スコヲ得ルモノニ非ス

第五、刑ノ言渡ヲ受ケタルモノ死去シタル片ハ其親族  
 刑ノ言渡ヲ受ケタル者已ニ死去シタル時ハ再審ヲ爲スモ死去シタル受刑者  
 ニ對シテ一ノ實益ナキカ如シト雖モ其人ノ名譽上ニ於テ之ヲ回復スルノ利  
 益ヲ有スルノミナラス其親屬ノ一家ノ汚名ヲ滌除スルノ利益ヲ有ス故ニ法  
 律ハ其親族ニ許スニ再審ヲ爲スノ權ヲ以テモリ法律ハ此訴ヲ親族ニ許スモ  
 之ヲ以テ檢事ノ責務トハ爲サス蓋シ檢事ハ社會ノ實益ヲ保護スルト雖モ其

職務タルヤ實益上ノ保護ヲ爲スモノニシテ死者ノ名譽ノ如キ適切ナラサル  
 利益迄モ保護スルノ責務アリトハ爲サ、ルナリ  
 再審ハ先キニ見タル如ク判決確定ノ上ニ非サレハ之ヲ爲スコヲ得ス故ニ欠  
 席判決ヲ受ケ其確定セサル間ハ再審ノ訴ヲ爲スコヲ得ス然レモ被告人既ニ  
 死去シタル時ハ其判決ハ確定スルヲ以テ親屬ハ其名譽ヲ保護センカ爲メ再  
 審ヲ爲スコヲ得ヘシ治罪法草案ニハ特ニ之ヲ許シ治罪法及ヒ刑事訴訟法ハ  
 其明記ナキモ親族ニ再審ヲ爲シ汚名ヲ滌除スルコトヲ許ス以上ハ對席ナルト  
 關席ナルトヲ區別セス再審ヲ爲スコヲ得ルモノトセサルヘカラス  
 本項ノ親族トハ刑法ノ親族例ニ列舉シタルモノヲ指稱スルコトハ刑事訴訟法  
 第二十四條ノ規定ニヨリテ明ナレハ別ニ説明ノ必要ナシ其親屬ニ制限アル  
 所以ハ往古ノ人ノ爲ニモ再審ノ訴ヲ爲スコヲ得ルト云ヘル弊害ヲ生スルコ  
 勿ラシムルカ爲メナリ歴史上有名ナル人物ニシテ冤罪ニテ刑ニ處セラレタ  
 ルモノアリ若シ親屬ニ制限ナクシハ其人ノ子孫ヨリ今日ニ再審ノ訴ヲ爲ス  
 カ如キコトアラン訴訟記録モ存在セサル今日ニ於テ如何ソ再審ヲ爲スコヲ得



第四節 再審ノ訴ヲ爲スルノ得ル時期

再審ノ訴ハ判決確定ノ後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ズ而シテ判決ノ確定後ハ此  
 訴ヲ爲スニ付テハ期間ノ規定アルコトナシ蓋シ再審ハ確定判決ヲ動カス所ノ訴  
 ナルカ故ニ其確定シタル裁判宣告アリテヨリ一ヶ月後ニアルト一ヶ月又ハ十  
 一年ノ後ニアルトニヨリテ其間ニ於テ相違ヲ生スルモノニ非ス彼ノ普通上訴  
 ノ如キハ裁判ノ確定ヲ妨グルカ故ニ一定ノ期間ヲ規定シアルモ再審ノ訴ハ一  
 ノ確定裁判ニ對スルモノナルカ故ニ確定ヲ遅延スルノ結果ヲ生スルモノニ非  
 ス是レ法律カ再審ノ訴ノ期間ヲ規定セザル所以ナリ

〔第三百二條 再審ノ訴ハ刑ノ消滅シタルニ係ラス何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得〕

本條ハ再審ノ訴ハ何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得ルノ元則ヲ示シタリ而シテ再審ハ  
 刑ノ存在スルモノナラズ尙ホ二歩ヲ進メ其刑ノ消滅ノ時ト雖モ之ヲ爲スコ  
 トヲ得ルニ付テハ彼ノ刑法第五十八條ニヨリテ刑ノ期滿免除ヲ經タルモノハ刑ハ  
 已ニ消滅シテ被告ノ身ニ受クル所ノ刑ナシ然レモ其裁判ニ對シテ再審ノ訴ヲ

爲スコトヲ得又特赦ニ因リ刑ノ執行ヲ免カレタル者モ亦再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得  
 蓋シ期滿免除又ハ特赦ニ由リテ刑ノ執行ヲ免カル、モ其言渡ハ消滅スルモノ  
 ニ非ズ故ニ再審ニ依リ不名譽ノミナラス言渡ヨリ生スル結果ヲ滌除スルノ利  
 益ヲ有スルモノナリ

刑ノ消滅セシムルハ獨リ時効又ハ特赦ノミナラス大赦モ亦刑ノ消滅ヲ來スモ  
 シナリ第三百三條ニヨレハ刑ノ消滅シタルニ係ラス再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得ル  
 トアリ故ニ大赦ヲ受ケタルモノモ之ヲ爲スコトヲ得ルカ如キモ然ラス如何トナ  
 レハ大赦ヲ受ケタル者カ再審ノ訴ヲ以テ攻撃セント欲スル確定判決ハ已ニ法  
 律ニヨリテ消滅シ判決ハ最初ヨリ無キモノトナリテ被告人ハ青天白日ノ人ト  
 ナリ再審ヲ爲スノ利益ヲ有セザレハナリ

特赦ニヨリテ刑ヲ免セラレ復權ヲ得タルモノト雖モ再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得ル  
 此復權ヲ得タルモノニアリテハ特赦ニヨリテ刑ハ消滅シ且其刑ノ結果トシ  
 テ發生シタル失權ハ之ヲ回復シタルモノナレハ最早刑ヲ言渡シタル判決ヲ攻  
 撃スルノ利益ハ一モ存在セザルモノ、如シ然レモ後日罪ヲ犯スニ當リ其前判



決ノ存在スルハ再犯ヲ以テ論セラル、カ故ニ復権ノ後ト雖モ再審ノ訴ヲ爲シテ其判決ヲ消滅セシムルノ利益アリ例ハ復権ノ後再審ノ訴ヲ爲シ其訴ハ理由アルモノトシテ上告裁判所ハ原判決ヲ破毀シ事實ノ裁判ニ於ケル原判決ノ失當ヲ認め無罪ヲ言渡シタル時ハ其人ハ再審以前ヨリモ尙ホ潔白ナル位置ニアルヲ得ヘシ若シ之ニ反シテ裁判所カ攻撃ヲ受ケタル原判決ト同一ニ刑ヲ適用シタルハ先キノ特赦及ヒ復権ハ其効力ヲ失フヤト云フニ決シテ然ラス特赦ハ刑ノ執行ヲ止ムルノ方法ニシテ復権ハ其刑ノ結果ヲ洗除スルノ特典ナレハ恰モ刑ノ執行ヲ終リタル後再審ノ訴ヲ爲シタルト同一ニシテ其再審ノ結果有罪ナリトテ再ヒ刑ヲ執行ス可キ理由ナシ故ニ復権ヲ得タルモノト雖モ再犯加重ヲ爲スカ如キ結果ヲ生スル判決ハ再審ノ訴ヲ以テ之ヲ攻撃スルコトヲ得セシムルハ法律ノ趣旨ナリトス

○再審ハ確定判決ニ對シテ爲スモノナリ然ルニ確定判決ハ常ニ執行ヲ爲スコトヲ得ルモノナルヲ以テ再審ノ訴ハ其執行ヲ停止スルノ効力ナキモノナルカ法律ニ於テハ一モ再審ノ訴ニ原判決ノ執行ヲ停止スルノ効力アルコトヲ規定セス

故ニ再審ノ訴ハ執行ヲ停止スルノ効力ナキモノト云フ可シ然レモ死刑ノ宣告ニ付テハ第三百十八條ニハ言渡確定シタルハ檢事ヨリ速ニ訴訟記録ヲ司法大臣ニ差出シ司法大臣ヨリ死刑ヲ執行ス可キ命令アリタルハ云々トアレハ未タ命令ノアラサル前ニシテ再審ノ訴ヲ爲シ其執行命令ノ到着シタルハ再審ノ訴アルニモ係ラス死刑ヲ執行スルカ如クシハ苛酷ニ過クルモノト云フヘシ故ニ再審ノ訴ニ執行停止ノ効力アルヤ否ヲ見ルニハ先ツ刑ノ執行ヲ爲スモ回復シ得ルモノナルヤ否ヤトニ依リテ別ニ死刑ノ如キ回復スヘカラサルモノニアリテハ執行ヲ停止スヘシ

死刑ノ宣告ト雖モ再審ノ訴アルニ係ラス執行ヲ爲シ得ルモノトセハ多クハ此判決ニ對スル再審ノ訴ニシテ理由アルハ只名ノミニシテ實益ナカルヘシ被告ノ目的ハ確定判決ヲ攻撃シテ之ヲ翻シ以テ自己ノ生命ヲ全ウセントスルニ在リ然ルニ其判決ヲ執行シ得ルモノトスルハ被告人已ニ死去シタル後ニ原判決ノ不當ナルヲ表明スルナラン是レ死刑ノ宣告ヲ受ケタル被告人ニ對シテハ再審ヲ許サスト規定セルト同一ニ歸スヘシ凡ソ法ヲ解スルモノハ其法ヲ



シテ徒法ナラシメンヨリ寧ロ法ヲ活用セシメサルベカラス然ラハ死刑ノ言渡  
ノ如キハ被告人ノ再審ヲ訴ノ爲メニ停止セラレ、モノトシテ始メテ再審ノ趣  
旨ヲ貫徹スルヲ得ヘシ

其他ノ刑ニ至リテハ假令之ヲ執行スルモ回復スルコトヲ得ルモノナルカ故ニ再  
審ノ訴ヲ以テ停止スルモノニ非ス殊ニ罰金及私訴判決ノ如キハ充分ニ回復ス  
ルコトヲ得ルモノナルヲ以テ決シテ其執行ヲ停止スルモノニ非ザルナリ

第五節 再審ノ訴ヲ爲スノ方式

再審ノ訴ヲ爲サント欲スルモノハ其趣意書ニ原判決ノ謄本及ヒ證據書類ヲ添  
ヘ之ヲ原裁判所ニ差出ス可シ第四百四項上告ヲ爲スモノハ其申立書ヲ差出シ而  
シ後不服ノ點ヲ明示セル趣意書ヲ差出ス可キモノトス然レモ再審ノ訴ニ至リ  
テハ別段ニ申立書ナルモノヲ差出スヲ要セス直チニ趣意書ヲ差出スヲ以テ足  
レリトス上告ニハ期間アリテ之ヲ經過スレハ訴權ヲ失ヒ其期間ハ短キヲ以テ  
完全ナル趣意ヲ申立ツル能ハス故ニ先ツ上告ヲ爲スノ申立ヲ爲シテ以テ其意  
思ヲ表明シテ後ニ於テ完全ナル趣意書ヲ呈出セシム然ラズンハ上告者ニ向ツ

テ難キヲ責ムルモノト謂フヘシ然レモ再審ノ訴ニ於テハ期間ノ定メタク法律  
ノ許シタル再審ノ原因ノ存在スル所ハ何時ニテモ爲スコトヲ得ヘケレハ時機ニ  
後ルハノ憂ナク從テ再審ノ理由ヲ發見スルニ十分ナル時日ヲ有ス故ニ直チニ  
趣意書ヲ差出スヘキモノトス  
再審ノ訴ハ期間ノ定ナキヲ以テ永キ時間ヲ隔テタル後ニ於テ爲スモノナルカ  
故ニ判決ノ謄本ヲ訴ヲ爲ス者ヨリ差出スヲ要ス他ノ上訴ニアリテハ原判決ハ  
未確定ニシテ裁判所ハ其申立若クハ趣意書ニヨリテ如何ナル判決ナルヤ容  
易ニ知ルコトヲ得レモ再審ニ至リテハ其攻撃ヲ爲ス所ノ原判決ヲ示スニ非スン  
ハ裁判所ハ或ハ如何ナル判決ナリシヤヲ知ル能ハス好シ又之ヲ知ルコトヲ得ル  
トスルモ繁雜ナル調査ヲ爲サハル可カラス而シテ其繁雜ナル調査ヲ誤リテ却テ  
錯誤ヲ來スヤモ難計故ニ此訴ヲ爲ス者ハ判決ノ謄本ヲ趣意書ニ附添セサルハ  
カラス

再審ノ訴ニハ確定判決ヲ攻撃スルモノナレハ訴者ハ確實ナル證據ヲ有セザル  
ヘカラス其證據ハ書面ヲ以テ開示スヘシ其證據書類ノ有無ハ再審ノ訴ヲシテ



効アラシムルト否トノ岐ル、所ナレハ申立人ヨリ證憑書類ヲ趣意書ニ附添ス可キハ勿論ナリトス

原判決ノ謄本及ヒ證憑書類ヲ附添シタル趣意書ハ之ヲ原裁判所ニ差出ス可シ然レモ其裁判所ヲシテ再審ノ訴ニ對シテ意見ヲ附セシムルカ爲ニ非ス若シ直チニ上告裁判所ニ之ヲ差出ストスレハ原裁判所ハ或ハ其再審ノ訴アルコトヲ知ラスシテ終ルニ至ラン而シテ原裁判所トハ如何ナル裁判所ナルカヲ見ルニ第一審ノ判決ニテ確定シタル判決ニ對スル再審ノ訴ヲ爲ス時ハ其第一審裁判所ナリ若シ第一審裁判所第二審裁判所ヲ經猶上告アリタル後確定シタル判決ニ對スル再審ノ訴ニ付テハ原裁判所ハ上告裁判所ニ非サルコトハ勿論ナリ何トナレハ再審ノ事實ニ對スル訴ナルニ上告裁判所ハ事實ニ對シテ訴ヲ受ケタルモノニ非ザレハナリ第二審乃チ控訴裁判所ニ於テ確定シタル判決ニ對スル再審ノ訴ハ第一審裁判所ナルカ第二審裁判所ナルカノ疑ヲ生ス可シ然レモ再審ノ訴ハ現ニ執行スル刑ノ言渡ヲ爲シタル判決ニ對シテ爲スモノナレハ事件カ第二審ヲ經第二審ニ於テ刑ヲ言渡シタル再審ノ訴ハ其裁判所若シ控訴ヲ棄却シタル

再審ノ第一審裁判所ヲ以テ原裁判所ナリトス第二百四十九條ニ於テ見タル如ク上訴完結ノ上ハ訴訟記録ハ第一審裁判所ニ送附シ凡テ第一審裁判所ノ保管スル處ナレハ再審ニ必要ナル書類ハ凡テ第一審裁判所ニアルヲ以テ此便利ノ點ヨリ論スル時ハ再審ノ訴ハ第一審裁判所ニ差出ス可キモノハ如シト雖モ再審ノ訴ヲ爲スモノヨリ見ル再審ノ訴ハ其訴訟記録ノ何レニ保管セラレアルヤハ敢テ與リ知ル所ニ非ス現ニ執行セラル、刑ヲ言渡シタル裁判ヲ目的トスルノ外ナケレハ其言渡ヲ爲シタル裁判所ニ申立ヲ爲スヘキハ當然ナリ今第一審ニ於テハ無罪ノ判決ヲ得檢事控訴シテ有罪ノ判決ヲ言渡シタル場合ヲ想像セハ此場合ト雖モ訴訟記録ハ第一審ニ保管セラル、モ元來第一審裁判所ハ刑ヲ言渡シタルモノニ非サルカ故ニ判決ニ對シテハ不服ノ理由ナク只第二審ノ判決ニ對シテ不服ノ點アリ然ラハ不服ノ申立ヲ爲スヘキハ判決ヲ言渡シタル第二審裁判所ナリトスヘシ然レモ第二審裁判所ニ於テハ第一審裁判所ニ於テ言渡シタル有罪ノ判決ヲ取消サスシテ控訴ヲ棄却シタル時ハ如何此時ハ第一審裁判所ヲ以テ原裁判所ト爲ス可シ此場合ニ於テ第二審裁判所ハ第一審裁判所ノ當







方式ナルカ檢事ヨリ再審ヲ爲スニアリ第三百四條ノ第三項ニハ區裁判所ノ檢事及ヒ控訴裁判所ノ檢事自ラ再審ノ訴ヲ爲サントスルキハ前項ノ手續ニ從ヒ其書類ヲ差出ス可シトアリ其原裁判所ノ檢事トアルハ第三百二條ノ第一號ニ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事トアルモノニ當リ又控訴裁判所ノ檢事トアルハ其第二號ノ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ヲ管轄スル控訴裁判所ノ檢事トアルモノニ當ル此第三項ハ事件カ控訴ニ係リタルト否トヲ問ハス再審ノ訴ヲ爲スノ權ヲ與ヘタルモノナレハ必ズ控訴アリタル事件ニ限ルモノト爲ス可カラス是等ノ檢事ヨリ再審ヲ爲スルハ前項ノ手續ニ從ヒ其書類ヲ差出ス可シトノミアルニヨリテ見レハ前項ノ書類ト稱スルハ趣意書並ニ原判決ノ謄本及ヒ證據書類ヲ指スモノナルカ故ニ檢事ハ趣意書ヲ差出ス可ク其趣意書ノ内ニハ檢事ノ意見ヲ包含スルコト勿論ナリ然レ其趣意書並ニ書類ハ直チニ之ヲ上告裁判所ニ差出スニ非スシテ上告裁判所檢事ニ之ヲ差出スモノナリ刑ノ言渡ヲ受ケタル者若クハ其親族及ヒ原裁判所控訴裁判所檢事ノ爲シタル再審ノ訴ハ共ニ第三百四條ノ定メル如ク原裁判所檢事ヨリ上告裁判所ノ檢事

ニ差出シ其之ヲ受ケル上告裁判所ノ檢事ハ之ヲ上告裁判所ニ之ヲ差出スヘキモノトス蓋シ再審ハ確定判決ヲ動かス所ノ重大ナル訴ナルカ故ニ上告裁判所ノ檢事ヲ經由スルコトヲ要スト爲セルナリ然レモ法律ハ上告裁判所檢事ヲシテ再審ノ訴ヲ取捨スルノ權利ヲ與フルモノニ非ス換言スレハ上告裁判所檢事ハ原裁判所檢事ヨリ書類ヲ受取り再審ヲ理由ナシトシテ之ヲ上告裁判所ニ差出サハルコトヲ得ルノ職權アリト云フコトヲ得ス且事ノ重大ナルヲ以テ此檢事ノ手ヲ經由スヘシト云フニ過ギス何トナレハ再審ハ法律ノ許シタル一ノ權利ナレハナリ

上告裁判所檢事モ亦自ラ再審ノ訴ヲ爲スヲ得ルコトハ第三百三條第三號ニ於テ見タル所ナリ此場合ニ於テハ上告裁判所檢事ガ調査ノ爲メ原裁判所ノ檢事ノ意見ヲ聞クコトハアリ得可キモ決シテ法律上ニ於テハ之ヲ必要ナリトセス直チニ上告裁判所ニ向テ此訴ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

**第六節 再審ノ訴ニ對スル判決**

再審ノ訴ト再審トハ自ラ區別アリ再審ノ訴ハ確定判決ニ對シテ再審ヲ求ムル



モノニシテ其訴ヲ理由アリト爲シタル上ハ該事件ヲ再ヒ審理判決ス之ヲ再審ト爲ス本節ニ於テ見ント欲スル所ハ其再審ノ訴ヲ受ケタルモ其訴ノ理由アルヤ否ヲ審理スルノ手續ナリ

前節ニ述ヘタル如ク上告裁判所ノ檢事ノ手ヲ經テ再審ノ訴ヲ上告裁判所ニ提出セラレタルモハ上告裁判所ハ其訴ノ審理ニ着手セサルヘカラス

〔第三百五條 上告裁判所ニ於テハ檢事ノ請求ニヨリ受命判事一名ヲシテ其取調ヲ爲シ報告ヲ爲サシム可シ〕

上告裁判所ノ第一着ニ爲ス可キ手續ハ受命判事ヲ命シテ其事件ノ取調ヲ爲サシムコトナリトス上告ニ付テハ第二百八十條ニ於テ裁判長ハ受命判事ヲ定ム可シト規定シタルノミナルモ第三百五條ニハ檢事ノ請求ニヨリ受命判事一名ヲシテ其取調云々トアリ故ニ常ニ受命判事ヲ命スルモノニ非スシテ只檢事ノ請求アリタル時ニ於テノミ受命判事ヲ命ス可キモノハ如シト雖モ本條ノ所謂檢事ノ請求ニヨリトアルハ上告裁判所ノ檢事ヨリシテ事件ノ審理ヲ請求シタルコトヲ云フモノニシテ受命判事ノ任命ヲ請求スルノ意ニ非ス上告裁判所ノ檢事

ノ手ヲ經テ再審ノ訴ヲ差出シタル時ニハ別ニ檢事ノ請求ナキモ受命判事ニ命シテ其取調ヲ命スルハ敢テ差支アルモノニ非ス如何トナレハ受命判事ヲ任スルコトハ審理上ノ便宜ニ出ツルモノニシテ敢テ他ノ請求ニヨリテ左右ス可キ事柄ニ非サレハナリ

本條ニ速ニ受命判事一名ヲシテ其取調ヲ爲シ報告ヲ爲サシムヘシト規定シアリ故ニ再審ノ訴ハ普通事件ノ如ク順序ヲ追フテ審理スルニ非スシテ特別ニ速ニ審理判決ヲ爲ス可キモノトス蓋シ再審ノ訴ハ上告ノ如クニ一般ニ執行ヲ停止スルノ効力ヲ有スルモノナラサルヲ以テ速ニ判決ヲ爲サレハ或ハ無罪ナル者カ一日ニテモ刑ノ執行ヲ多ク受クルノ結果ヲ生ス可ケレハナリ

○已ニ受命判事ニ於テ取調ヲ終リタルモハ上告裁判所ハ其再審ノ訴ニ對シテ判決ヲ爲ス可シ

〔第三百六條 上告裁判所ニ於テハ受命判事ノ報告及ヒ檢事ノ意見ヲ聞キ判

決ヲ爲ス可シ〕

我刑事訴訟法ニ於テハ凡テ判決ヲ爲スニハ法廷ヲ開キ辯論ヲ爲スヲ必要トス



故ニ受命判事ノ報告及ヒ檢事ノ意見ハ法廷ニ於テ之ヲ爲サ、ル可カラス上告ニ付テハ第二百八十三條ニ於テ定メタル如ク檢事及ヒ辯護士ハ各其趣意ヲ辯明ス可シトアリ然ルニ再審ニハ受命判事ノ報告ト檢事ノ意見ヲ聞ク可キコトヲ規定セルノミニシテ辯護士ニ關スル一ノ規定ナシ故ニ或ハ再審ニ付テハ辯護士ヲ出シテ法廷ニ於テ辯明ヲ爲サシム可キモノニ非ストノ疑團ヲ生ス上告ノ如キハ檢事ナル對手人アルヲ以テ辯護士出シテ辯明セシムルノ必要アルモ再審ニ付テハ只檢事ハ相手方ニ非サルヲ以テ之ニ對シ辯護スルノ必要ナキカ如シト雖モ再審ノ趣旨ヲシテ明瞭ナラシムルニハ辯護士ヲシテ辯明セシムルノ必要アリ又檢事ハ認庭ニ於テ必シモ被告人ノ利益ヲ主張スルモノニ非ス若シ不幸ニシテ趣意書ニ反對ノ意見乃チ被告人ニ不利益ナル意見ヲ陳述スルコトアラシモ知ル可カラス然ルモ辯護士ヲシテ之ヲ辯護スルノ必要アリトス故ニ輕罪ノ言渡ヲ受ケタル者ヨリ再審ノ訴ヲ爲シテ辯護士ヲ出シタル時ハ其辯明ヲ聞ク可ク又重罪ノ刑ノ言渡ヲ受ケタル者其訴ヲ爲シテ辯護士ヲ撰任セザル時ハ上告ニ於ケル如ク辯護士ヲ撰任シテ以テ辯明ヲ爲サシメタル後判決ヲ爲

ス可キナリ檢事ヨリ被告人ノ利益ノ爲メ此訴ヲ爲スルハ辯護士ノ辯明ヲ聞クノ理由ナキカ如シ然レモ彼ノ上告ト雖モ檢事ハ被告人ノ利益ノ爲メニ上告スル場合ナシトモ此場合ト雖モ重罪事件ニシテ本人ヨリ辯護士ヲ撰任セザルニ於テ辯護士ヲ撰任セザルヘカラス再審ノ訴ト雖モ此點ニ於テハ何ソ上サルハ裁告ト異ナランヤ辯護權ノ行用カ上告ニ於ケルモ再審ニ於ケルモ均シク一ナル上ハ獨リ上告ニ於テノミ辯護士必要ニシテ再審ニ於テ辯護士必要ナラスト論斷スルコトヲ得ス再審ニ於テモ亦辯護士ノ辯論ヲ聞カサルヲ得ス

○上告裁判所ニ於テ審理ヲ爲シタル上ハ如何ニ判決ヲ爲ス可キモノナルヤ再審ノ訴ニシテ理由ナキ時ハ其訴ヲ棄却スルコト判決ヲ爲ス可キモノトス而其棄却ノ判決ヲ爲ス可キ場合ハ左ノ二ノ場合ナリトス

第一、再審ノ訴ノ原因カ第三百二條ニ掲ケタル第一號乃至第六號ノ項目中ニ何レノ場合ニモ適合セザルハ

何レノ場合ニ於テモ再審ノ訴ヲ爲スニハ其原因ヲ證明ス可キ證據ヲ提出スルヲ必要トス故ニ其證據ニシテ完備セザルハ乃チ再審ノ原因ナク第三百



一條ノ項目ニ適合セザルモノトシテ棄却ノ言渡ヲ爲スヘシ治罪法草按ヲ見ルニ第五百八十八條第四項ニ證明書類ヲ差出ヅル時ハ棄却ノ判決ヲ爲ス可シト雖モ裁判所ヲシテ其提出ヲ爲スカ爲メニ期限ヲ與ヘテ棄却ノ判決ヲ猶豫スルコトヲ得セシメタリ證據書類ハ自己ニ於テ充分ナリトスルモ猶ホ不完全ナルコトアリ其不完全ヲ補ハシメシカ爲メ棄却ノ猶豫ヲ爲スニ於テハ大ニ其宜シキヲ得ヘク裁判所ニ或ハ原因ノ存在セザラント推想スルモ其證據書類ノ不完全ナルカ爲メニ不得止棄却ヲ爲スカ如キコトナカル可シ然レモ刑事訴訟法ニ於テハ此規定ナシ故ニ趣意書及ヒ之ニ附添スル證據書類其他後日追加シタルモノ即チ判決ヲ爲ス迄ニ提出證據書類ニヨリテ判決ヲ下スヘク猶ホ其他ニモ證據アル可シトノ推測ヲ以テ棄却ノ判決ヲ遲延スルコトヲ許サ、ルナリ

第二、本法第三百二條ヲ以テ許シタル資格ヲ有セザル人ヨリ再審ノ訴ヲ爲シタルハ法律ハ再審ヲ爲スコトヲ得可キ人ハ死者ノ親族迄ニモ及ホシ充分ニ其區域ヲ

擴張シタルハ其以外ノ人ヨリ再審ノ訴ヲ爲スモ其訴ノ當否ニ拘ラズ上告裁判所ハ之ニ對シテ棄却ノ判決ヲ爲サ、ルヲ得ス

再審ノ原因ナシトシテ棄却ノ判決ヲ爲シタル時ハ其申立人ハ更ニ同一事件ニ付再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得ルモノナル乎此問題ニハ一事不再理ノ原則ヲ適用スルコトヲ得ヘシ凡ソ再審ハ已ニ確定シタル判決ニ對シテ爲スモノニシテ其效果トシテ確定方ヲ動カスモノナリ若シ同一事件ニ付テ同一ノ理由ヲ以テ幾度モ再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得ルモノトセシカ途ニ底止スル所アラザルハシ然レモ一度再審ヲ爲シ確的ノ證據ナクシテ棄却セラレタルモ後殺サレタリトセシ人顯出スルガ如キ確的ノ證據ヲ發見シタルハ訴ノ原因ヲ異ニスルヲ以テ更ニ訴ヲ爲スコトヲ得ヘシ何ソ其確證アルモ猶ホ殺人ノ犯罪者ナリトシテ刑場ノ鬼ト化セシムルコトアラシヤ苟モ其原因ヲ異ニシタルハ幾度ニテモ爲スコトヲ得ヘシ

再審ノ申立人ヲ異ニスルキト雖モ其理由ヲ同クスルニ於テハ之ヲ受理審判セザルコトヲ得ヘシ例ハ初ハ被刑人ヨリ共犯人ニ非スシテ同一事件ニ付キ



刑ノ言渡ヲ受ケタル者アリトシテ再審ノ訴ヲ爲シ上告裁判所ハ其訴ハ再審ノ原由ナキモノト認メ棄却ヲ言渡シタルニ檢事ヨリ更ニ同一ノ證據書類ヲ呈シ再審ノ訴ヲ爲シタルハ之ヲ棄却セサルヘカラス何トナレハ其審理判決ヘキ點ハ被告人ノ訴ニ於ケルト全ク同一ナルハナリ一事不再理ノ原則ヲ訴訟當事者ヲ異ニスル場合ニ適用セサルハ新タナル當事者カ權利上ノ資格ヲ異ニスルヲ以テナリ例ヘハ甲者ニ對シテ義務アリト判決スルモ其判決ノ効力ハ甲者一人ニ止マリ乙者ニ於テハ同一事件ニ付義務ナキモノナルヤモ知ルヘカラサルヲ以テ乙者ヨリ訴ヘタルハ同一ノ事件ニ付テ判決ヲ爲サ、ルヘカラス又同一ノ人ト雖モ最初ハ主タル義務者トシテ訴ヲ爲シ判決ヲ以テ義務アリトシタル後保證人ニ非ストノ理由ヲ以テ更ニ訴ヲ爲スコトヲ得ヘシ其事件ハ同一ナルモ訴訟人ノ資格ハ異ナルヲ以テ一事不再理ノ原則ヲ適用スルヲ得ス然ルニ再審ノ場合ニ於テハ被告人ヨリスルモ檢事ヨリスルモ皆被告人ノ利益ノ爲メニスルモノナレハ人異ナリト雖モ資格ヲ異ニスルコトナシ故ニ被告人ヨリ再審ノ訴ヲ爲シ棄却ノ判決アリタル後檢事ヨリ同

一ノ原由ヲ以テ再審ノ訴ヲ爲スモ審理スルニ及ハス直チニ之ヲ棄却スヘキナリ  
再審ノ訴ニシテ理由アルハ原判決ヲ破毀シ事件ヲ他ノ裁判所ニ移シテ再審ヲ爲サシム  
〔第三百七條 上告裁判所ニ於テ再審ノ原因アルコトヲ認メタルハ原判決ヲ破毀シ公訴及ヒ私訴ニ付キ再審ヲ爲スコトヲ言渡シ其事件ヲ原裁判所ハ同等ナル他ノ裁判所ニ移ス可シ〕  
第三百八條 死者ノ親屬ヨリ再審ノ訴ヲ爲シタル場合ニ於テ上告裁判所ニテ再審ノ原因アルコトヲ認メタルハ其事件ヲ他ノ裁判所ニ移スコト無ク原裁判ヲ破毀ス可シ  
上告裁判所ニ於テ再審ノ原由アルコトヲ認メタルハ原判決ハ之ヲ破毀シテ其裁判ノ確定力ヲ失ハシメサルヘカラス已ニ上告裁判所ニ於テ再審ノ理由アリト認メタル時ハ原判決ノ不當ナルコト明瞭ナリト雖モ未タ刑ノ言渡ヲ受ケタルモノハ無罪ナリトハ速斷スルヲ得ス死者ノ親族ヨリ再審ノ訴ヲ爲シタル場合



ニ上告裁判所ニ於テ其判決ヲ破毀スルニ止マレハ後ニ見ル如ク特例ナリトス  
 一般ノ場合ニ於テハ無罪ナリト速斷スルヲ得サルヲ以テ原判決ヲ破毀シ公訴  
 及ヒ私訴ニ付キ再審ヲ爲スコキコトヲ言渡シ其事件ヲ原裁判所ト同等ナル他ノ  
 裁判所ニ移シテ再審ヲ爲サシムルモノトセリ蓋シ再審ノ原因アリト確認シタ  
 ル時ハ事實ヲ審理セサルヘカラス然ルニ事實ハ上告裁判所ニ於テ之ヲ審理ス  
 ルコトヲ得サルヲ以テ更ニ事實裁判所ニ其事件ヲ移送シテ審理判決ヲ爲サシム  
 ルモノナリ例ヘハ訴訟記録ニシテ原判決ノ基本トナリタルモノニ偽造アリト  
 シテ再審ノ訴ヲ爲シタルニ上告裁判所ハ其訴ノ如クニ偽造ナルコトヲ確認スル  
 モ果シテ原判決ハ其書類ノミニヨリ犯罪ナルコトヲ認めタルモノナルヤ否ヤ知  
 ル能ハス若シ原判決ニシテ他ノ證據ニヨリテ犯罪アリト認定シタルモノナラ  
 シニハ其二箇ノ書類カ偽造ナルコトヲ認めタリト云フテ無罪ト速斷スルコトヲ得  
 ス原判決ノ事實ハ偽造ノ證據ニヨリテ定マリタルヤ將タ他ノ證據ニヨリテモ  
 犯罪ノ認定ヲ下シ得ルヤ乃チ其偽造ノ證據ト他ノ證據トノ間ノ關係ハ事實ノ  
 審理ヲ經タル上ニ非サレハ判明スルモノニ非ス而シテ其事實ノ審理判決ヲ爲ス

ニ付テハ諸般ノ證據ニヨリテ認定ス可キモノナレハ到底上告裁判所ノ爲シ得  
 可キモノニ非ス故ニ其事件ヲ原裁判所ト同等ナル他ノ事實裁判所ニ移送シ審  
 理セシム又殺人罪ニヨリテ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヨリ殺サレタリト認めラレ  
 タル者カ處罰後猶ホ生存スルトノ確證ヲ提出シ上告裁判所ニ於テモ亦其確證  
 ヲ認めタル時ハ最早ヤ殺人ノ所爲アラサルコトハ明白ナリ故ニ上告裁判所ニ於  
 テ直チニ無罪ノ判決ヲ言渡スコクシテ他ニ移送スルノ必要ナキカ如シ然レモ  
 或ハ其被告人ハ殺人罪ハ犯サ、ルモ毆打創傷罪ヲ犯シタルヤモ計ラレヌ故ニ  
 更ニ諸般ノ證據ニヨリテ事實ヲ認定スルノ必要アリトス  
 死者ノ親族ヨリ再審ノ訴ヲ爲シ上告裁判所ハ再審ノ原因アリト認めタル時ハ  
 事件ヲ事實裁判所ニ移スコトナク原判決ヲ破毀スルニ止マルモノトス上告裁判  
 所カ再審ノ原因アルコトヲ認めタル片ハ原判決ノ不當ナルコトハ明白ナルヲ以テ  
 其判決ヲ破毀スコシ然レモ被告人死亡シタル後ナレハ事件ノ審理ヲ爲サス例  
 ヘハ殺サレタリト認めタル人カ猶ホ存在スルコトヲ原因トシテ死者ノ親屬ヨリ  
 再審ヲ求メタルニ上告裁判所ハ其人ノ存在スルコトヲ確認シタル時ハ死者ニ殺



人罪ノ所爲アリト爲シタル原判決ハ之ヲ取消シ無罪ヲ言渡スヘシ若シ受刑者  
 尙ホ生存スルハ他ノ犯罪アルヤモ知レサルヲ以テ事實裁判所ニ移送シテ再  
 審ヲ爲サシム可キモ其人已ニ死亡シ自ラ防禦スルコトヲ得サルモノナレハ事實  
 ノ審理ヲ爲サス只原判決ヲ破毀スルニ止マルモノナリ  
 再審ノ訴ハ第一審第二審ノ公訴ノ判決ニ對シテ之ヲ爲スモノニシテ其判決ニ  
 附帶スル私訴ノ判決アルコトアリ故ニ再審ノ原因アルコトヲ認メタルハ獨リ公  
 訴判決ヲ破毀スルニ止マラス之ニ附帶スル私訴ノ判決ヲモ破毀シ其事件ヲ原  
 裁判所ト同等ナル他ノ裁判所ニ移送ス蓋シ私訴ハ常ニ公訴ト運命ヲ共ニスル  
 モノナレハ若シ公訴ニシテ無罪ナル時ハ私訴ニ付テ責任アリト言渡サレタル  
 判決モ自ラ存在スルコトヲ得ヘカラサルハ自然ノ道理ナレハナリ  
 死者ノ親族ヨリ再審ノ訴ヲ爲シタル時ハ公訴判決ヲ破毀スルニ止マルコトハ上  
 ニ見タルカ如シ此場合ニ於テ第三百八條ハ私訴ノ事ヲ規定セス然ラハ私訴モ  
 亦單ニ原判決ヲ破毀スルニ止マル可キカ公訴ニ付テ破毀ニ止マル所以ハ前陳  
 述ノ如ク更ニ審理ヲ爲サント欲スルモ已ニ辯護權ヲ行用ス可キ本人ナキヲ以

テナリ然レモ私訴ニ付テハ相續人アリテ充分ニ防禦ヲ爲スコトヲ得ヘキヲ以テ  
 公訴ニ對スル時ト同一ニ論スルコトヲ得ス然ラハ私訴ニ付テ其事件ヲ原裁判ト  
 同等ナル他ノ裁判所ニ移送スルヲ以テ相當ナリトスヘキカ如シ若シ送付スル  
 トセハ公訴判決破毀ノ後ハ附帶スヘキ公訴ナキヲ以テ上告ノ場合ニ於テ私訴  
 ノミヲ破毀スル時ハ民事部ニ移送スルト同一ニ之ヲ民事部ニ移送スヘキカ如  
 シ然レモ再審ノ原由アルニ依リ公訴私訴ニ付キ再審ヲ爲サシムルハ第三百  
 條ノ定メタル普通ノ場合ニシテ死者ノ親屬ヨリ再審ノ訴ヲ爲ス場合ニ於テハ  
 私訴判決ヲ破毀スルノ明文ナキヲ以テ之ヲ破毀スルノ限ニ非ス只相續人ハ民  
 事訴訟法ニ依リ再審ノ理由アルハ之ヲ爲スヲ得ルノミ  
 再審ノ訴ニヨリ原判決破毀ノ後公訴私訴ニ付キ再審ヲ爲ス可キ旨ヲ言渡シテ  
 移送シ而シテ之ヲ受ケタル裁判所ハ如何ナル手續ニヨリテ裁判ヲ爲ス可キヤ  
 「第三百七條項三 其送附ヲ受ケタル裁判所ニ於テハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判  
 ヲ爲ス可シ」  
 原裁判ヲ破毀シタル以上ハ事件ハ未タ嘗テ裁判ヲ經サルト同一ノ形狀ニ回復



ス故ニ移送ヲ受ケタル裁判所ハ普通ノ事件ト同一ニ審理判決ヲ爲ス可キモノトス然レモ或ル點ニ於テハ其裁判ハ恰モ上訴ヲ受ケタルト同一ニ制限ヲ受ク可キコトアリ乃チ原判決ハ上告人ノ不利益ニ變更ヲ爲スコトヲ得サルト是ナリ抑再審ノ訴ヲ爲シ其原因アリト爲シタル時ト雖モ必スシモ其結果無罪トナルノミナラス或ハ有罪トナリ且其事實タルヤ原判決ヨリ重キ刑ニ該當スルコトナキニシモアラス然レモ再審ノ訴ハ被告ノ利益ノ爲メニ許シタルモノナルニ其訴ヲ爲シタルカ爲メ猶ホ不利益ノ結果ヲ受ケシムルハ法ノ欲セサル所ナレハ控訴上告ノ精神ニ依リ再審ノ訴ニ付キ法律ニ明記スル所ナシト雖モ此原則ハ適用セサルヲ得サルナリ

移送ヲ受ケタル裁判ニアリテハ普通條件ト同一ニ裁判ヲ爲スヲ以テ原則トス故ニ證據ノ取捨ニ付テモ亦原判決ニ羈束セラル、コトナシ即チ原判決カ採リテ以テ有罪ノ資料ト爲シタルモノニ誤謬又ハ偽造アリテ其書類ヲ取除クハ一モ有罪ノ證據ナキ場合ト雖モ再審ヲ爲スニ當リテ他ニ有罪ノ證據ト爲ス可キモノアル時ハ之ニ依リ刑ヲ適用スルヲ得ヘシ然レモ之ヲ以テ被告人ニ不利益

ノ變更アリタルモノト云フヲ得ス何トナレハ移送ヲ爲スニ無罪ノ言渡ヲ爲ス可シト命シタルモノニ非ザレハナリ

移送ヲ受ケタル裁判所ニ於テ再審ヲ爲スニ當リテ一ノ注意ス可キコトアリ例ハ原判決ハ三個人ノ犯罪アリトシテ數罪俱發例ニヨリテ第一ノ犯罪行爲ヲ重シトシテ處斷シタルニ其第一第二ノ犯罪行爲ニ付テ再審ノ原因アリトシテ原判決ヲ被毀移送シタル場合ニ於テハ其之ヲ受ケタル裁判所ハ若シ第一第二ノミニ付テ再審ヲナシ無罪ヲ言渡シタル場合ニ於テハ原裁判ニ付テ執行ス可キ主文ハ消滅シテ爲メニ他ノ再審ニ原因ナカリシ罪ニ付テモ刑ノ執行ヲ爲スコトヲ得サルノ不都合ヲ見ルニ至ル可シ凡ソ再審ノ訴ハ數罪俱發一ノ重キニ從テ處斷シタル判決ニ對スル時ハ是レ判決主文ニ對スル攻撃ニシテ從テ判決全体ニ及ホシ再審ノ被毀ハ乃チ全部ニ對スル被毀ナルヲ以テ其事件ノ移送ヲ受クル時ハ其裁判所ハ事件全体ニ付テ審理判決ヲ爲サ、ル可カラス斯クスルハ再審ノ訴ヲ以テ攻撃セラレサル事實迄被毀セラレ其事實迄モ再審ヲ爲スハ甚タ故ナキニ似タリト雖モ斯クナサ、レハ有罪ニ對スル刑ノ執行ヲ爲スコトヲ得サ



ルノ不都合ヲ來スモノナレハ避ク可カラサルノ結果トシテ之ヲ再審スルモ決シテ妨ケナシニ付テ無罪ナリトテ他ノ有罪ノ行爲ニ對シテモ尙ホ刑ヲ免カレシムルノ理由アル可カラズ

再審ノ訴ニ對スル裁判ハ皆判決ヲ以テ之ヲ爲ス故ニ之ヲ公廷ニ於テ宣告スルヲ必要トス若シ再審ノ結果無罪トナリタル時ハ其無罪ヲ宣告シタル判決ハ之ヲ揭示シテ以テ社會公衆ニ示ス可キモノトス

〔第三百九條 再審ノ判決ニ因リ無罪ノ言渡アリタルハ又ハ前條ノ場合ニ於テ破毀ノ言渡アリタルハ其者ノ名譽ヲ復スル爲メ其判決ヲ揭示ス可シ〕

死者ノ親族ヨリ再審ノ訴ヲ爲シ其原因アリトシテ原判決ヲ破毀シタルハ其上告裁判所ノ判決ハ其犯者ノ無罪ヲ言渡シタルモノナレハ之ヲ揭示シテ以テ名譽ヲ回復セシム可シ又原判決ヲ破毀シ以テ他ノ裁判所ニ移送ノ言渡ヲ爲シタルハ無罪ヲ言渡シタルモノニ非ス故ニ之ヲ揭示ス可キモノニアラス而シテ其移送ヲ受ケタル後審理判決ノ上無罪ノ言渡ヲ爲シタル時之ヲ揭示ス可キモノナリ而シテ其揭示ノ理由ハ刑ノ言渡ヲ受ケタルモノハ無罪ヲ回復セシカ爲メ

ナリ今又例ヲ轉シ再審ノ判決ヲ以テ一罪ニ付テハ無罪ニシテ他ノ一罪ニ付テハ有罪ヲ宣告シタル時ハ其有罪トナリタルモノハ揭示ス可キモノニ非ス夫レ揭示ハ以テ名譽ヲ回復スルカ爲メニ爲スモノナルコトハ法律ノ明言セル所ナリ然ルニ若シ有罪ノ判決ヲモ猶ホ揭示ス可キモノトスルハ更ニ不名譽ヲ世上ニ發表シテ世人ノ記憶ヲ惹起スルモノナリ故ニ只其無罪トナリタル一分ノミヲ揭示スヘキモノトス

**第七編 大審院ノ特別權限ニ屬スル訴訟手續**

裁判所構成法第十五條第二項ニ依レハ大審院ハ左ノ犯罪ニ付キテハ第一審シ

ニテ終審トシテ豫審及ヒ裁判ヲ爲スモノトス

第一、皇室ニ對スル重罪刑法第一章

第二、國事ニ關スル重罪刑法第二章

第三、皇族ノ犯シタル犯罪ニシテ禁錮又ハ更ニ重キ刑ニ處ス可キモノ

第一、第二ノ犯罪ハ其性質犯罪中ニ於テ尤モ重大ナルヲ以テ特別權限ニ屬ス又

第三ノ罪ハ其種類ニ定限ナシト雖モ被告人ハ我國ニ於テハ特別ノ位置ニアル



ヲ以テ充分ナル擔保ヲ以テ裁判ヲ爲サシムルカ爲メ特別權限ニ屬スルモノト  
 ス元來普通裁判所ト雖モ其裁判官ハ能力節義及ヒ公平ノ點ニ於テ欠クル所ナ  
 ク何等ノ事件ニ對スルモ擔保ナキニ非ス然レモ法律ニ於テ審級ヲ置キ最上級  
 ハ大審院ナリトシタルヲ以テ此重大ナル犯罪ニ付テハ特例トシテ大審院ノ權  
 限ニ屬セシメタリ而シテ大審院ハ此事件ニ付テハ第三審トシテ之ヲ裁判スルニ  
 非ス全ク事實裁判所トシテ第一審ノ裁判ヲ下スモノナリ然ルニ大審院ノ上ニ  
 上訴ス可キ法院ガキヲ以テ其裁判ハ終審ナリトス

大審院ノ特別權限ニ屬スル犯罪ノ種類ハ上ニ述タル如シ其罪ノ輕重ニ付キ區  
 別セサルヘカラス皇室ニ對スル犯罪及ヒ國事ニ關スル犯罪ハ重罪ニ限リ特別  
 權限ニ屬ス故ニ是等ノ犯罪ト雖モ輕罪ハ普通裁判所ノ管轄ニ屬ス可シ又皇族  
 ノ犯シタル罪モ禁錮以上ノ犯罪ニ限リ特別權限ニ屬シ禁錮以下ノ輕罪ハ凡テ  
 普通裁判所ノ管轄ニ屬スルモノナリ若シ大審院カ國事ニ關スル重罪又ハ皇族  
 ノ犯シタル犯罪ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルモノトシテ管理シタル後其審理ノ  
 結果國事犯ナルモ輕罪ナル時又ハ皇族ノ犯罪ナルモ禁錮以下ニ當ルモノナル

時ハ普通裁判所ノ管轄ニ屬ス可キモノナリト雖モ管轄違ヲ言渡ス可キモノニ  
 非ス恰モ地方裁判所カ公訴ヲ受理シタル後地方裁判所管轄ニ屬ス可キモノニ  
 非スシテ區裁判所管轄ニ屬ス可キモノナリトスル時ハ之ニ管轄違ヲ言渡サス  
 シテ第一審ノ判決ヲ爲スト同一ノ理由ニ出テ第三百十三條ノ規定ニ依  
 裁判所ハ下級裁判所ヨリモ擔保多シトスルヲ以テ事件ヲ下級裁判所ニ移スノ  
 必要ナシ

大審院ノ特別管轄ニ屬ス可キ事件ハ土地ノ管轄ニ關係ナキヲ以テ犯罪ノ地及  
 ヒ被告人ノ所在地ノ如何ヲ問ハス凡テ之ヲ管轄ス從犯正犯ノ關係ニ付テハ管  
 轄ニ關シ多少問題ヲ生スルコトアルヘシ夫レ普通裁判ニアリテハ第二十八條ニ  
 依レハ從犯ハ正犯ヲ管轄スル裁判所ヲ以テ其管轄ナリトシ正犯數名アル時ハ  
 其中ニテ最初豫審又ハ公判ニ着手シタル裁判所ヲ以テ其管轄ナリトストアリ  
 皇室ニ對スル罪及國事ニ關スル罪ノ從犯ハ其正犯モ亦皇室ニ對シ國事ニ關ス  
 ル罪ノ正犯ナルヲ以テ從犯ト正犯ト其管轄ヲ異ニスルコトナク何レモ皆大審院  
 ノ管轄ニ屬ス可シ獨リ皇族ノ犯シタル禁錮以上ノ犯罪ニ關スル大審院ノ特別



権限ハ犯罪ノ種類ニヨリテ定メタルニ非ズ被告人ノ身分ニヨリテ定メタルモ  
 ノナレハ正犯ハ普通裁判ノ管轄ス可キ犯罪ナルコトアル可シ然ルニ其皇族ハ從  
 犯ナルヲ以テ普通裁判所ノ管轄ナリトスルルハ此大審院ノ特別權限ヲ設ケタ  
 ルノ精神ニ背馳ス故ニ第二十八條ハ第三項ヲ以テ裁判所構成法第五十條第二  
 三記載シタル皇族ノ罪ニ付テハ其正犯從犯ハ身分ノ如何ヲ問ハズ大審院ニ於  
 テ之ヲ管轄スルモノナリト規定セリ

◎大審院ハ上述ノ犯罪ニ付テハ獨リ審理判決スルノ裁判權ヲ有スルノミナラ  
 ス豫審モ亦其管轄ニ屬ス然ラハ其豫審ノ運用ヲ惹起スヘキ犯罪ノ搜查モ亦下  
 級裁判所檢察事ニ委ネスシテ檢察總長ヲシテ之ヲ爲サシメサルヘカラス

第三十條項一 裁判所構成法第五十條第二號ニ記載シタル大審院ノ特別  
 權限ニ屬スル犯罪ニ付テハ檢察總長其搜查ヲ爲ス可シ

檢察總長獨リ其搜查ノ任ニ當ルト雖モ元來檢察ハ同一體ナルヲ以テ地方裁判  
 所ノ檢察區裁判所ノ檢察及ヒ司法警察官モ亦檢察總長ヲ補佐シ搜查ヲ爲スヘ  
 シ

同條第二項 地方裁判所區裁判所ノ檢察及ヒ司法警察官モ亦其犯罪ニ付キ  
 搜查ヲ爲シ檢察總長ニ報告ス可シ

本項ニハ控訴院ノ檢察ヲ記載セス故ニ其檢察ハ此犯罪ニ付キ搜查ヲ爲スノ職  
 務ナシ蓋シ地方裁判所區裁判所ノ檢察及ヒ司法警察官ハ其犯罪アリタル地ト  
 近接シ之ヲシテ搜查ノ補佐ヲ爲サシムル上ハ控訴院ノ檢察ヲモ加ヘルノ必要  
 ナケレハナリ

檢察ハ搜查ヲ爲シ犯罪ノ證據及ヒ犯人ヲ得ルモ直チニ起訴ヲ爲スノ權ナシ唯  
 檢察總長ニ其結果ヲ報告スルニ止マルモノナリ其報告ニ因リテ搜查ヲ結了シ  
 タル上起訴ヲ爲ス者ハ獨リ檢察總長ナリトス通常ノ場合即チ非現行犯ニ付キ  
 テ起訴權ハ總長ニアルノミナラス下ニ見ル如ク此特別管轄ニ屬スル事件ニ付  
 テハ現行犯ノ場合ト雖モ檢察及ヒ司法警察官ニ豫審處分ヲ行フコトヲ許スモ起  
 訴權ハ檢察總長ニアリ第三十三條ニ檢察總長ハ何レノ場合ニ於テモ起訴ス  
 ヘキモノト認ムルルハ豫審判事ヲ命スヘキコトヲ請求スヘシトアリテ其請求ハ  
 即チ公訴ヲ起スモノナリ普通事件ニアリテハ現行犯ニ在リテハ豫審處分ヲ行



フタル檢事ハ起訴ヲ爲スコトヲ得ルモ特別權限ニ屬スル事件ハ總テ重大ナルヲ以テ其權ナク起訴權アルハ獨リ總長ノミナリトス、  
 現行犯ノ場合ニ於テハ普通事件ニ付テモ檢事司法警察官ハ豫審處分ヲ爲スコトヲ得蓋シ其犯罪ヨリ生スル危害ノ大ナルト且速ニ着手セザレハ證據湮滅ノ恐アルニ依ル特別權限ニ屬スル事件ト雖モ現行犯ノ場合アルコト必然ナリ而シテ其場合ニ於テハ均シク檢事及ヒ司法警察官ヲシテ豫審處分ヲ爲サシムルノ必要アリ

〔第三百十一條 前條ニ記載シタル犯罪ノ現行犯アル場合ニ於テ急速ヲ要スルキハ地方裁判所區裁判所ノ檢事及ヒ司法警察官ハ第四百十四條及ヒ第四百十七條第一項ノ規定ニ從ヒ豫審處分ヲ爲スコトヲ得但豫審判事ニ通知スルコトヲ要セス〕

普通ノ事件ニ於テハ檢事及ヒ司法警察官ハ現行犯ニ付テ豫審處分ヲ行フコトヲ得其處分ヲ行フハ急速ナル場合ナルヲ以テ豫審判事ヲ待タズシテ着手ヲ爲シ豫審判事已ニ處分ニ着手スルニ至レハ檢事ハ其以後ノ處分ヲ行フヲ得ス故ニ

第四百十四條ハ其處分ニ着手スル前ニ豫審判事ニ通知スルコトヲ要ス然レモ特別權限ニ屬スル犯罪ニ付テハ普通事件ト同一ニ檢事及ヒ司法警察官ハ第四百十四條第四百十七條第一項ノ規定ニ從ヒ豫審處分ヲ行フコトヲ得ルモ未タ通知ヲ爲ス可キ豫審判事ナキヲ以テ之ヲ通知スルコトヲ要セス  
 然ラハ檢事及ヒ司法警察官ニ於テ豫審判事ニ屬スル處分ヲ行フタル時ハ如何ナル手續ヲ爲ス可キカ

〔第三百十二條 前條ノ場合ニ於テハ地方裁判所檢事ヨリ證據書類ニ意見書ヲ添ヘ速ニ檢事總長ニ送致ス可シ〕

地方裁判所ノ檢事現行犯アルヲ知リテ豫審處分ヲ行フタル時ハ其處分ニ因リテ得タル證據及ヒ證據書類ニ意見ヲ添ヘテ速ニ之ヲ檢事總長ニ送附ス可ク若シ區裁判所檢事又ハ司法警察官ニ於テ現行犯ニ付キ豫審處分ヲ行フタル時ハ其證據書類ヲ地方裁判所檢事ニ送致シ該檢事ヨリ檢事總長ニ送致ス可キモノトス區裁判所檢事及ヒ司法警察官ノ行フタル處分ノ結果ハ別ニ規定ナシト雖モ檢事總長ニ送致ス可キモノハ地方裁判所檢事ナリト規定シアルニヨリテ明



カナリ  
 如此檢察總長ニ於テ搜索ヲ爲シタル上ニ檢察總長ハ先ツ起訴ス可キモノナル  
 ヤ否ヲ判斷セサルヘカラス若シ起訴ス可カラサルモノト認メタル時ハ檢察人  
 全權ヲ以テ其事件ヲ不問ニ附シ刑事上ノ訴訟ヲ起スヘカラス若シ大審院ハ特  
 別權限ニ屬セサルモ下級裁判所ニ屬スルモノトスル時ハ事固ヨリ下級裁判所  
 ノ檢察ニ屬スルヲ以テ之ヲ其移送シテ以テ起訴ヲ爲サシムヘシ若シ其事件ハ  
 大審院ノ特別權限ニ屬スルモノニシテ起訴ヲ爲ス可キモノト認メタル時ハ一  
 切ノ書類ヲ該院ニ差出シ起訴ヲ爲スヘシ然レモ未タ起訴ヲ受ク可キ豫審判事  
 ナキヲ以テ起訴ト同時ニ豫審判事ノ設置ヲ請求セサルヘカラス  
 第三百十三條 檢察總長ハ何レノ場合ニ於テモ其事件大審院ノ特別權限ニ  
 屬シ且起訴ス可キモノト認メタル時ハ豫審判事ヲ命ス可キコトヲ大審院長  
 ニ請求ス可シ  
 此請求ヲ受ケタル時ハ即チ起訴アリタルヲ以テ大審院ハ審理ニ着手セサルヘ  
 カラス其審理ノ第一着ハ大審院長ニ於テ豫審判事ヲ命スルコトナリトス而シテ其

豫審判事ハ大審院ノ判事中心ヨリ命ス可キカ將タ下級裁判所ニシテ其犯罪ノ場  
 處ニ接近シタル裁判所ノ豫審判事ニ任命スルコトヲ得ルモノナルカ治罪法草接  
 及ヒ治罪法ノ高等法院ニ關スル第八十六條ハ大審院刑事部ノ判事一名又ハ數  
 名ヲ豫審判事ニ命スルノ規定アリシモ刑事訴訟法ニ於テハ特ニ此條ヲ刪除シ  
 タルノミナラス裁判所構成法第五十五條ハ大審院長ハ大審院ノ特別權限ニ屬  
 ス可キ事件ニ付キ大審院ノ判事ニ豫審ヲ命シ但シ便宜ニヨリ各地方裁判所判  
 事ヲシテ豫審ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノトセリ  
 大審院長ノ任命シタル豫審判事ハ檢察總長ノ差出タル書類ニ依リテ事實ノ調  
 査ヲ十分ナリトシ他ニ取調ヲ要スルコトナシト爲シタル時ハ訴訟記録ニ意見ヲ  
 附シ大審院ニ差出ス可シ第三百十四條若シ取調ヲ要スル時ハ普通ノ手續ニ依リ豫審  
 ヲ爲スヘシ普通事件ニアリテ豫審判事ハ取調ノ結果ニヨリテ有罪ナリト認メ  
 タル時ハ公判ニ移スノ言渡ヲ爲シ若シ無罪ナル時ハ免訴ノ言渡ヲ爲スモノナ  
 ルモ此特別事件ニ付テハ豫審判事ハ豫審決定ヲ爲スノ權力ナキヲ以テ公判ニ  
 附スルノ言渡又ハ免訴ノ言渡ヲ爲スコトヲ得ス又普通事件ニシテ管轄ニ屬スル



事件ニ非スト認ムルモ他ノ裁判所ノ公判ニ附スルノ言渡ヲ爲スコトヲ得ルモノニ非ス是等ノ言渡ハ皆大審院ノ爲スヘキモノトス

豫審判事ヨリ訴訟記録ニ意見ヲ附シ差出シタル時ハ大審院ハ檢事總長ノ意見ヲ聞キ先ツ其事件ノ公判ニ附ス可キヤ否ヤヲ決定スルモノトス第三百十五條

若シ大審院ニ於テ調査ノ上自己ノ特別權限ニ屬ス可キモノナリト認メタル時ハ其決定ヲ爲ス其決定ニ依リテ事件ハ大審院ノ公判ニ附セラル、モノナリ恰モ普通ノ豫審終結決定ト同一ノ効力ヲ以テ其事件ハ始メニ公判ニ附セラル此故ニ其決定ヲ爲シタル判事ハ豫審終結ニ關與シタル判事ト同一ナルヲ以テ其後公判ノ判事トナリテ職務ヲ取ルコトヲ得ス法律上其職務ヨリ除斥セラル、モノトス可キナリ

若シ大審院カ其事件ヲ地方裁判所又ハ區裁判所ノ權限ニ屬スルモノト決定シタル時ハ管轄裁判所ヲ指定シ其事件ヲ其裁判所ニ送致ス可シ第三百十五條此場合ニ於テハ大審院ハ豫審決定ヲ爲スニ非スシテ管轄裁判所ヲ指定シ事件ヲ送附シテ其裁判所ノ公判ニ附スルモノナリ故ニ管轄裁判所ニアリテハ管轄ノ指

定ヲ受ケタルモノナルヲ以テ公判ヲ開クヘク管轄違フ言渡スヲ得ス

以上ハ大審院カ特別權限ニ屬セラルモノト決定シ他ノ裁判所ニ移送スル時ノ手續ナリ若シ其事件カ特別裁判所ノ權限ニ屬スルモノト認メタル時ハ決定ヲ以テ管轄違フ言渡シヲ爲ス可シ第三百十五條例ヘハ大審院ハ豫審判事ノ差出シタル訴訟記録ニヨリテ調査シ檢事總長ノ意見ヲ聞キタル上事件ハ軍事裁判所ノ管轄ニ屬スルモノト爲シタル時ハ司法裁判所ノ權限外ニ屬スル事件ナルヲ以テ管轄裁判所ヲ特定スルノ限リニ非ス故ニ大審院ハ決定ヲ以テ管轄違フ言渡ヲ爲スヘキナリ

若シ大審院ハ事件カ第六十五條第一乃至第六ノ場合ニアルモノト認メタル時ハ決定ヲ以テ免訴ノ言渡ヲ爲ス可キモノナリ第三百十五條

以上述フル所ノ大審院ノ決定ハ普通事件ハ豫審終結シテ下ス決定ナリ普通ノ豫審終結決定ニ對シテハ重罪公判ニ移スモノナル時ハ之ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノナルモ此決定ニ對シテハ抗告ヲ許スノ正文ナキヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ス第七十二條ハ單ニ重罪公判ニ附スル決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコト



ヲ得ト記載シアルヲ以テ廣ク之ヲ適用シテ大審院ノ決定ニ對シテモ適用スル  
 得ルモノ、如シト雖モ本條ハ豫審判事カ爲シタル決定ニ對シテ抗告ヲ許  
 スモノニシテ今予輩ノ講究スル所ノ決定ハ豫審判事ニ非スシテ大審院ノ決定  
 ナリトス故ニ其豫審ニ關スル正條ヲ適用スルコトヲ得ス治罪法第八十九條ヲ見  
 ルニ高等法院ノ裁判ニ對シテハ上訴ヲ許サ、ルヲ以テ原則ト爲ス大審院ノ特  
 別權限ニ屬スル事件ニ付テハ決定ハ判決ニ非サルヲ以テ控訴上告ヲ爲スコトヲ  
 得サルハ勿論又爲サント欲スルモ上級裁判所アルコトナシ其裁判ノ性質上ヨリ  
 云フ時ハ一ノ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノナルモ抗告ハ上ニ述ヘタル如ク抗告ハ  
 法律ニ特ニ許シタル場合ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノナルヲ以テ法律  
 カ此決定ニ對シテ抗告ヲ許スノ明文ナキ以上ハ之ヲ許サ、ルコト自ラ明瞭ナリ  
 大審院ニ於テ事件ヲ特別權限ニ屬スルモノト爲シタル上ハ公判ヲ開キ審理判  
 決ヲ爲ス可シ而シテ其手續ハ普通事件ト異ナルコトナキヲ以テ本編ニ於テハ特ニ  
 之ヲ規定セズ第三百十六條ハ前數條ニ於テ特ニ之ヲ規定シタルモノヲ除ク外  
 豫審公判ノ手續ハ第三編第四編ノ手續ヲ準用ストアリテ本編ハ普通ノ手續ト

異ナルモノヲ規定シタルニ止マツテ特別權限ニ屬スル凡テハ事件ヲ刑事訴訟  
 手續ヲ定タタルモノニ非ズ依テ公判ノ手續ヲ如キハ別ニ本編ニ規定ナキヲ以  
 テ普通事件ト同一ナルコトハ勿論ニシテ欠席判決ニ對スル故障及ヒ再審ノ如キ  
 モ亦此特別權限ノ判決ニ對シテ之ヲ行フコトヲ得ルモノナリ  
 畢リニ私訴判決ノ事ニ付テ一言セシニ特別權限ニ屬スル公訴ニ附帶セル私訴  
 ハ大審院ニ於テ審理判決スルコトハ勿論ナリ此特別事件ニ在リテハ大審院ハ普  
 通事件ニ於ケル如ク單ニ法律ヲ點シミニ付テ判決ヲ爲スニ非ズ事實裁判所ト  
 シテ審理ヲ爲スモノナレハ私訴ナリトテ他ノ裁判所ヲシテ審理セシムルノ要  
 ナシトス然レモ私訴ノ結果ハ刑事訴訟法ノ規定ヲミニ據ルヲ以テ足レリトセ  
 ス往々民事訴訟法ノ規定ニ依ルヘキモノアリ例ヘハ假差押ノ如キコト必スナキ  
 ニシモアラズ是等ノ手續ハ民事訴訟法ニ據ルヘケレハ其法ヲ定ムル裁判所ヲ  
 シテ之ヲ爲サシムルコトアルモノナリ

第八編 裁判執行、復權及ヒ特赦  
 第一章 裁判執行



刑ノ執行ハ判決確定ノ後ニ非スシハ爲スコヲ得ス第三百七條民事訴訟法ニアリテハ裁判ノ假執行ヲ爲スコアリト雖モ刑事訴訟法ニアリテハ其刑ノ輕重如何ニ係ハラス之ヲ執行スル時ハ回復スルコト能ハサルヲ以テ其判決確定セサル間ハ執行ヲ許サ、ルモノトス而メ如何ナル時期ニ於テ判決ハ確定スルモノナルヤ法律ニ許シタル上訴ヲ爲シ盡シテ其上訴ノ判決アリタルルル又上訴ヲ爲サハルモノニ付テハ上訴ス可キ期間ノ終了ヲ以テ確定ノ時ナリトス然レモ上訴ノ場合ニ於テ上訴裁判所ノ判決ニ依リテ確定スルハ上告裁判所カ棄却ノ判決ヲ爲シ又ハ自ラ刑ノ適用ヲ爲シタル時ナリトス若シ破毀シテ事件ヲ他ノ下級裁判所ニ移送シタル時ノ如キハ未タ確定スルニ至ラス其事件ハ第三審ノ裁判所ニ繫屬シタルヲ以テ刑ノ執行ヲ爲スコヲ得サルナリ控訴抗告ノ判決アリタル迄ハ未タ上訴ヲ爲シ盡シタルモノニ非サルヲ以テ確定ナキヤ論ヲ俟タス

茲ニ闕席判決ニ付テ講究スルヲ要ス闕席判決モ亦上訴期間經過ニヨリテ確定スルモノト云フヘシ故ニ假令故障期間存在スルモ尙モ上訴期間經過スルルハ其刑ヲ執行スルコヲ得ヘシ第三百二十九條曰ク故障ノ期間ハ三日トス此期

間ハ云々禁錮ノ刑ヲ言渡シタル判決ニ付テハ被告人自ラ其送達ヲ受ケ又ハ判決執行ニ因リ刑ノ言渡アリタルコヲ知リタル日ヲ以テ始マルトアリ然ラハ法律ハ判決ハ執行セラレ其執行ニ依リテ被告人刑ノ言渡アルコヲ知リタル場合ヲ想像スルモノト謂ハサルヲ得ス而シテ判決ノ執行ハ確定ノ後ニ非サレハ之ヲ爲スコヲ得サルヲ以テ闕席判決ハ已ニ確定シタリトス其確定ハ對席判決ト同一ノ時ニ於テ成ラサルヘカラス果シテ然ラハ故障ハ確定判決ニ對シテモ爲スコヲ得ヘク乃チ上訴期間經過セサル間ハ確定判決ニ對スルモノニ非サルモ已ニ上訴期間ノ經過シタル時ハ確定判決ニ對シテ爲スコノナリ斯ノ如クナレハ闕席判決ハ被告若シ有效ニ故障ヲ申立ツル時ハ事件ヲ未タ判決ヲ爲サ、ル前ニ引戻スル條件附ニテ判決ヲ爲スコナリ故ニ故障ヲ申立テサル間ハ普通判決ト同一ニ上訴期間經過ニ依リテ確定シ既ニ確定スレハ執行ヲ爲スコヲ得被告ハ故障ヲ申立テ之ヲ受理シタルルルハ其判決ヲ執行ヲ停止シ且事件ヲ未タ判決ヲ經サル以前ノ程度ニ回復シ第二百三十三條ニ云ヘル如ク更ニ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スコナリ此論タルヤ第二百二十九條ニ判決ヲ執行トアル文字



治罪法第三百ニ拘泥スルヲ嫌ナキニ非ス寧ロ此判決執行ハ判決執行ノ處分即チ逮捕ト解スルヲ以テ穩當ナルカ如シト雖モ是ハ法文ヲ解スルニ非スシテ法文ヲ修正ヲ試ミルモノニ非サルカモ況モ治罪法草案ニハ執行上ノ或ル行爲トアリテ註解ニハ例トシテ逮捕ノミナラス執行ニ付キ異議ヲ唱ヘ又ハ禁錮ヲ受クル前或ハ事務ヲ整理スル爲メ猶豫ヲ檢察官ニ請求シ又ハ自家ニ於テ醫療ヲ加ヘル必要アル病氣ヲ申立タル場合ヲ掲ケ何レモ刑ノ執行ニ着手シタルヲ明カニセズ

○本章ノ表題ニハ裁判執行トアリ然ルニ裁判ト稱スルハ獨リ刑ヲ言渡シタル判決ノ大テス無罪ヲ言渡シタル本按ノ判決本按前ノ判決及ヒ決定ヲモ包含スルモノナリ本章ニ是等ノ裁判ノ執行ヲ規定スルニ非ス刑ノ執行之ニ附屬スル公訴費用及ヒ私訴判決ノ執行ヲ規定スルニ止ルモノナリ故ニ第三百十七條ノ判決確定ノ後ニ非サレハ執行スルヲ得ストシタルハ刑ヲ言渡シタル判決ニ付テ云フモノナリ上訴裁判所ノ判決ニシテ棄却又ハ事件ハ移送ヲ言渡シタルモノハ其言渡ト同時ニ確定スルヲ以テ之ヲ執行スルキハ勿論ナリ本按ノ判

決ニシテ無罪放免ヲ言渡シタルモノニアリテハ判決確定ノ後ニ非サレハ執行スルヲ得サルハ法文ナシ然レモ控訴ノ期間及ヒ其申立ニ依リ執行ヲ停止ス

第三百五 上告ニ付テハ之ト同シカラス其期間及ヒ申立ニ放免ヲ言渡ハ尙ホ未

確定中ニアリト雖モ執行ヲ爲スヘキモノトス

第二百七 本按前ノ判決即チ管轄

違又ハ公訴受理スヘカラサルノ申立ヲ却下シタル判決之ニ控訴又ハ上告ヲ爲シタルハ本按ノ辯論ヲ停止スル

第七 以テ其判決ノ確定セサル内ニ在

リテ執行ノ實ナカルヘシト雖モ右ノ申立ヲ採用シタル判決ハ本按ノ判決ナレ

ハ控訴ニ付テハ何レモ執行ヲ停止スルモ上告ニ付テハ公訴不受理ノ判決ハ執

行セラルルモノトス何トナレハ其判決ハ放免ヲ言渡スモノナレハナリ決定ニ

付テモ豫審終結決定ノ如ク抗告ノ爲メ其期間又申立アルハ其執行ヲ停止ス

ルト雖モ

第十四 其他ノ決定ニシテ抗告ヲ爲ストテ得ヘキモノニテ特ニ法律ヲ執

行停止ノ明文ナキ限りハ抗告期間内ニ在リテ決定未タ確定セサルモノナル

ニ拘ラス之ヲ執行スルヲ得ルモノトス抗告ニ對スル決定ニ對シ更ニ抗告アリタルハ亦上下同ナリトス



○本條ハ前述ノ如ク刑ノ執行ハ判決確定以前ニ之ヲ爲ストヲ得サルノ規定ヲ置ケリ其判決確定シタル後ニアリスハ何時ニ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノナルヤ第三百十九條ハ刑ノ言渡確定シタル時ハ直チニ之ヲ執行スルモノトセリ故ニ一般ニ於テハ判決確定スルヤ猶豫ナク執行ニ取掛ルコトヲ得然レモ左ノ例外アリトス

第一、死刑ノ執行

第三百十九條ハ死刑ヲ除ク外刑ノ言渡ノ確定シタル時ハ直チニ執行ス可シト云フヲ以テ見レハ死刑ノ執行ハ例外ナルコトヲ知ルベシ凡ソ死刑ハ刑罰ノ最モ重キモノニシテ且回復ス可カラサル結果ヲ生ズ故ニ法律ハ其執行ニ付テハ特ニ鄭重ナル手續ヲ要シタリ刑法第十三條ニ死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ストアリ又刑事訴訟法第三百十八條ニ死刑ノ言渡確定シタル時ハ檢事ヨリ速カニ訴訟記録ヲ司法大臣ニ差出ス可シ司法卿ヨリ死刑ヲ執行ス可キ命令アリタルハ三日内ニ其執行ヲ爲ス可シトアリ故ニ死刑ノ言渡確定シ再審ノ訴ヲ爲スモノニアラサル時ハ檢事ヨリ訴訟記

録ヲ司法大臣ニ差出シテ其命令ヲ待ツ可シ司法大臣ハ其訴訟記録ニヨリテ特赦非常上告及ヒ再審ヲ爲ス可キモノニ非サルヤ否ヲ審査シ其特例ニ依ルベキモノニ非スト認メタルハ執行命令ヲ下ス可キモノナリトス此命令アリタル時ハ執行官ハ三日内ニ死刑ノ執行ヲ爲ス可シ此三日内モ亦或場合ニ於テハ延期スルコトアリ刑法第十四條ニ大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フコトヲ得ストアリ又第十五條ニ死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懷胎ナル時ハ其執行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非サレハ刑ヲ行ハストモ其故ニ司法大臣ヨリ執行命令アリタルハト雖モ以上ノ場合ニ於テハ法律ノ規定ヲ遵守シテ三日内ニ之ヲ行フコトヲ得サルナリ

第二、罰金

刑法第二十七條ニ曰ク罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ納完セシム若シ納完セサル者ハ一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フト然ラハ罰金ハ刑ノ言渡確定後直チニ徵收スルコトヲ得サルモノニシテ一个月ハ受刑人ノ權利ニシテ此一个月間ハ執行ヲ爲スコトヲ得サルモノトス第四十二條ノ附加罰金ニ付



テモ亦同シ  
 刑ノ執行ハ其言渡確定シタルヨリ直チニ執行ヲ爲スコト云フハ専ラ主刑ニ付テ云フモノナリ附加刑ニアリテハ或ハ主刑ノ終リタル時ヨリ執行スルモノアリ監視ノ如キ是ナリ刑法第三十九條  
 ◎刑ノ執行ハ檢事ノ職務ニ屬スルヲ以テ若シ体刑ノ言渡ヲ受ケ其執行ヲ免カレタルモノアル時ハ執行ノ爲メニ檢事ハ逮捕狀ヲ發ス可シ其逮捕狀ハ勾留狀ト同一ノ効力ヲ有スルモノナリ第三百九條故ニ此檢事ノ發シタル逮捕狀ハ皆ニ受刑人ヲ逮捕スルニ止マラスシテ監獄ニ勾留引致スルノ効力ヲ有スルモノトス  
 闕席判決ノ場合ニ於テハ判決執行ノ爲メニ檢事ヨリ逮捕狀ヲ發スルコトアリ此場合ニ於テモ逮捕狀ノ効力ハ勾留狀ト同一ニ勾引留置スルコトヲ得蓋シ刑事訴訟法ニ於テハ人ヲ引致勾留スルノ權ハ豫審判事ニアルヲ以テ通例トス檢事ヨリ發スル所ノ逮捕狀ハ法律ニ於テ勾留狀ト同一ノ効力ヲ附スルニ非ズシテ勾留スルコトヲ得故ニ法律ハ特ニ其効力ヲ明示スルニ非ズシテ其職權ニ依リテ○刑ノ執行ハ裁判所ノ職掌ニ非ズシテ檢事ノ職務ニ屬スルモノトス裁判所構

成法第六條ニ於テ各裁判所ニ檢事局ヲ設置シ檢事ハ刑事ニ付キ判決ノ適當ニ執行セラル、ヤ否ヲ監視ストアリ又刑事訴訟法第三百二十條ニ刑ノ執行ハ其刑ヲ言渡シタル裁判所ノ檢事又ハ上告裁判所ヨリ命ヲ受ケタル裁判所ノ檢事ノ指揮ニ因リ之ヲ爲スコトアリ故ニ現ニ刑ヲ執行スルハ皆檢事ノ監視及ヒ指揮ノ下ニアリテ之ヲ爲スモノナリ  
 而シテ其檢事ハ如何ナル裁判所ノ檢事ナルカ法律ハ其刑ヲ言渡シタル裁判所ノ檢事ナリト云ヘル故ニ第一審ノ判決確定シテ之ヲ執行ス可キ時ハ其刑ヲ執行スルモノハ第一審裁判所ノ檢事ナルコト論ヲ俟タズ若シ控訴ヲ爲シ控訴裁判所ニ於テ原判決ヲ認可シタル時ハ均ク第一審裁判所ノ檢事其執行ヲ爲スコキナリ蓋シ此刑ヲ言渡シタル裁判所トハ執行ス可キ主文ヲ言渡シタル裁判所ノ謂ニシテ第二審ハ事實ヲ覆審シタルニ相違ナキモ其執行ス可キ主文ヲ言渡シタルモノニ非ズ故ニ第二審裁判所ヲ以テ刑ヲ言渡シタル裁判所ト云フコトヲ得サレハナリ反之第二審裁判所ニ於テ第一審裁判所ノ判決ヲ取消シ更ニ刑ヲ執行ス可キ主文ヲ言渡シタル時ハ乃チ刑ノ言渡ヲ爲シタルハ第二審裁判所ナルヲ



以テ其裁判所ノ檢事ニ於テ執行ヲ司ル可キナリ、  
 上告裁判所ニ於テ上告ヲ棄却シタル時ハ其上告裁判所ハ刑ヲ言渡シタル裁判  
 所ニ非サルヲ勿論ニシテ其刑ノ執行ヲ司ルモノハ前陳述シタルト同一ノ區別  
 ニ從ヒ第一審裁判所若クハ第二審裁判所ノ檢事ナリトス然レモ上告裁判所ニ  
 於テ原判決ノ擬律ヲ更正シ執行ス可キ主文ヲ言渡スヨアリ此場合ニ於テ刑ノ  
 執行ハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事之ヲ司ル可シト云フ原則ニ從ヘハ上  
 告裁判所ノ檢事ナリトス然レモ如此スル時ハ實際上非常ノ不都合ヲ生ス何ト  
 ナレハ上告裁判所ハ被告人ノ出頭ヲ要セサルモノナレハ被告人ハ原裁判所ノ  
 監獄ニ在リ然ルヲ上告裁判所ノ檢事其執行ヲ司ルモノトシテ執行ノ爲メニ大  
 審院ノ檢事長崎若クハ函館ニ如キ遠隔ノ地ニ出張セサルヲ得ス出張セストセ  
 ハ被告人ヲ執行ノ爲メニ長崎若クハ函館ヨリ遞送セシメサルヲ得サルナリ故  
 ニ第三百三十條ニ刑ノ執行ハ上告裁判所ヨリ命ヲ受ケタル裁判所ノ檢事ノ指  
 揮ニ因リ之ヲ爲ス可シト規定シタル然ラハ執行スヘキ主文ヲ言渡シタルルルハ  
 上告裁判所ハ他人ノ控訴院又ハ裁判所ニ執行ヲ命ジ其院若クハ裁判所ノ檢事カ

執行ヲ指揮スルモノトス實際ニ於テハ上告裁判所ノ檢事ヨリ控訴院又ハ裁判  
 所ノ檢事ニ命ジ其檢事ニ於テ執行ヲ司ルモノトナスヲ以テ便宜ニシテ且事物  
 ノ順序ヲ得ルモノ、如シト雖モ本條ハ斯ノ如クニ解釋スルヲ得サルヲ如何ニ  
 セシ  
 罰金科料訴訟費用及ヒ沒收物品追徴金ハ檢事ノ命令ニヨリ之ヲ徵收ス第三百  
第二項罰金科料沒收物品追徴金ノ徵收ハ乃チ主刑又ハ附加刑ノ執行ナルヲ以テ  
 檢事ノ司ル所ニシテ執行官吏ハ檢事ノ指揮ニヨリテ之ヲ實行スルモノナリ訴  
 訟費用モ亦刑ノ執行ニ附帶スルモノナレハ檢事ノ命令ニヨリテ徵收スルハ當  
 然ナリ然ルニ第三百二十三條ニ依レハ訴訟關係人ニ辨濟ス可キ訴訟費用ニ付  
 テハ其判決ノ執行ハ民事訴訟法ニ從フ可キモノト規定シタリ凡ソ公訴費用ハ  
 刑法附則ニ定ムル如ク證人鑑定人等ニ辨濟ス可キモノナルヲ以テ訴訟關係人  
 ニ辨濟スヘキ費用ニ非ス故ニ民事訴訟法ノ規定ニ從ハシムルモノハ私訴費用  
 ノ執行ニシテ公訴費用ノ執行ニ非ストス  
 沒收シタル物品ハ或ハ其存在ノ以テ社會ニ危害ヲ與フルモノアリ例ヘハ偽造



貨幣及ヒ人ヲ殺スカ爲メ用井又ハ用井ント爲シタル爆發物ヲ裝置セル器械ノ如キハ之ヲ沒收シタル後ハ破壞又ハ廢棄シテ存在セシメサルヲ要ス其破壞又ハ廢棄ス可キ沒收物品ハ檢事之ヲ處分ス可キナリ第三百二十條第二項

公訴附帶ノ私訴ニ對シテ言渡シタル判決ノ執行ハ賠償ニ付テハ民事訴訟法ニ從テ可キコトヲ第三百二十三條ニ於テ明記シテアリ贓物ノ返還ヲ言渡シタル判決ノ執行ニ付テハ明記ナキモ民事訴訟法ニ從テ可キナリ何トナレハ其訴訟ハ一ノ民事ノ訴ニシテ便宜ノ爲メニ刑事ノ訴訟ニ附帶シテ判決シタルコトハ損害ノ賠償ト同一ナレハナリ

○已ニ刑ノ執行ヲ終了シタル時ハ其終了シタルコトヲ證明シ置クヲ必要ナリトス故ニ第三百三十一條ハ死刑ノ執行ニ付テハ裁判所書記其始末書ヲ作リ刑ノ執行規定ニ從ヒ立會ヲ爲シタル官吏ト共ニ署名捺印ス可シト云ヘリ死刑ハ尤モ重大ナル刑ナルヲ以テ特ニ裁判所書記ヲシテ之ヲ證明セシメ置クナリ其他ノ体刑ニ付テモ刑ノ執行セラレタルコトヲ證明シ置クノ必要ナルモ敢テ裁判所ノ吏員ヲ煩ハスヲ要セス刑ノ執行ヲ受ク可キ監獄署ノ帳簿ニ被刑人ヲ登錄シ

タルヲ以テ其執行ヲ證明シ得ルナリ又罰金過料沒收物品追徴金等ニ至リテハ檢事ノ命令ニ依リ執達吏ニ於テ之ヲ執行スルカ故ニ執達吏ノ作リタル文書ニヨリ證明シ得ルモノトス

○刑ハ裁判確定後ニ其執行ヲ見ルモノナルヲ以テ其判決自体ニ對シテハ再審及ヒ非常上告ヲ以テ攻撃スルノ外不服ヲ稱フルコトヲ得可キモノニ非スト雖モ刑ノ執行ニ對シテハ其刑ヲ受クル者ヨリ疑義又ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ルモノトス

疑義ノ申立ハ第三百二十二條ノ規定スル所ニシテ該條ニ依レハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者其言渡ニ付キ疑義ノ申立ヲ爲シタル時ハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ニ於テ之ヲ決定ス可シトアリ疑義ノ申立トハ執行官ノ處分ヲ不當ナリトシテ其處分ノ更正ヲ求ムルノモノニ非ス判決ノ意義明瞭ナリトシテ疑ヲ生シタルニヨリ其言渡ノ解釋ヲ求ムルニ過キサザルモノナリ本條ニハ其言渡ニ付キ疑義ノ申立トアルヲ以テ判決中何レノ部分ニ付テモ苟モ疑アル時ハ申立ヲ爲シテ決定ヲ受クルコトヲ得ルモノ、如シト雖モ決シテ然ラス判決ノ理由ハ確定前ニ



アリテハ若シ明瞭ヲ欠ク時ハ上訴シテ之ヲ更正スルノ道アリ故ニ已ニ確定シタル以上ハ其理由ニ付テ受刑人カ意義ヲ解セサルトテ疑義ノ申立ヲ爲スヲ得ス然ラハ疑義ノ申立ハ判決ノ主文ニ關スル疑義ナリトス之ヲ細別スレハ主文ヲ以テ言渡シタル刑ノ性質範圍及ヒ其刑ヲ受ク可キ人ニ關スル解釋ヲ求ムルモノナリ若シ判決中ノ如何ナル部分ニ於テモ疑義アル時ハ申立ヲ爲ス可シトスル時ハ裁判所カ法律ノ解釋ヲ誤リタルルル如キ被刑人ハ疑義ヲ生シ之ヲ論難シテ止マサルヘク決定ヲ與フヘキ裁判所モ其論旨ヲ相當ナリトセサルヲ得ス然レモ最早其判決ハ更正スヘカラサレハ其説明ヲ爲スモ刑ヲ受ケタル者ニ在リテハ何等ノ利益アルコトナカルヘシ例ヘハ茲ニ輕懲役八年ニ處シタル一判決アリ之ヲ執行スルニ當リ被刑人ハ疑義ノ申立ヲ爲シタリ其判決書ヲ見ルニ事實理由ノ部ニハ被告ハ某年月日ノ夜某甲某ノ居室ノ雨戸ヲ毀テ之ヨリ窃カニ家内ニ入りタルニ某甲某ハ熟睡シテ覺ラサルヲ幸ヒトシ一室ニアル棚ヲ明ケ兼テ甲某カ其内ニ納メ置キタル衣類ニ點ヲ取り元ト侵入シタル處ヨリ出テ立去リ翌日其衣類ヲ或ル人ニ賣却シタルヨリ事發覺シタルモノナリトアリテ之ニ

法律ヲ適用スルニ至リテハ被告ノ所爲ハ人ヲ脅迫シ財物ヲ強取シタル者ナルヲ以テ刑法第三百七十八條ニ依リ處斷スヘキモノナリトノ理由ヲ附シテ輕懲役八年ニ處シタリ此判決タルヤ何レヨリ見ルモ理由ノ齟齬アルカ擬律錯誤アルカ疑義ヲ生スルハ當然ナルモ確定前ニ在リテハ之ヲ攻撃スルコトヲ得ヘキモ確定ノ今日ニ至リテハ之ヲ如何トモスルヲ得ス故ニ疑義ノ申立ヲ爲スモ決定ヲ與フヘキ限リニ非ス輕懲役八年ト云フ刑ノ性質及ヒ區域ハ判然タルヲ以テ之ヲ執行スヘク申立ハ要スルニ判決ノ理由ニ對スルモノナルヲ以テ其効ナカルヘシ

○第二審第三審ノ判決ニシテ控訴又ハ上告ヲ棄却シタル判決ハ主文ニ對シテ疑義ヲ生スルコトアルヘシ例ヘハ上告ノ判決ニシテ原判決ヲ破毀シタルモノナルカ將タ上告ヲ棄却シタルモノナルヤ明瞭ナラサル時ノ如キ是ナリ此場合ニ於テハ疑義ノ申立ヲ爲スコトヲ得可シ何トナレハ明瞭ヲ欠キタルハ執行スヘキ判決主文ノ存廢ニ直接シタルモノナレハナリ

○異議ノ申立ニ付テモ第三百二十二條ニ之ヲ規定シ刑ノ言渡ヲ受ケタル者其



執行ニ付キ異議ノ申立ヲ爲シタルハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ニ於テ之ヲ決定ス可シト云ヘリ此異議ノ申立ハ執行處分ヲ不當ナリトシテ更正ヲ求ムルモノナリ例ヘハ被告人ハ刑期計算ニ付テ刑法第五十一條ニ依リ前判宣告ノ日ヨリ起算シテ刑ヲ執行シタルハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ヘシ此異議モ亦其區域ハ刑ノ性質範圍及ヒ刑ヲ受ク可キ人ニ止マルモノトス其執行スヘキ判決ノ理由等ニ不服ナリトテ異議ヲ申立ツルコトヲ得可キモノニアラス

○疑義及ヒ異議ノ申立ニ對シ決定スルモノハ第二百二十二條ニ明記スル如ク刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ナリトス而シテ第三百二十條ニ於テ解釋シタル如ク刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所トハ執行ス可キ判決主文ヲ言渡シ又ハ其主文ノ存廢ニ關スル言渡ヲ爲シタル裁判所ナリトス故ニ棄却ノ言渡ヲ爲シタル控訴裁判所及ヒ上告裁判所ハ其内ニアリトス前段ニ見タル如ク棄却ノ判決ヲ爲シ其主文ニ疑義ヲ生シタル時ハ其上訴裁判所ニ疑義又ハ異議ヲ申立ルコトヲ得可キナリ

疑義又ハ異議ハ皆刑ノ言渡シタル裁判所ニ於テ決定ヲ爲ス可キモノナリトス

ルモ此決定ハ如何ニ之ヲ爲ス可キモノナルカハ法律ニ於テモ規定スル所ナシ故ニ裁判所ハ疑義又ハ異議ノ申立アルヲ幸ヒトシ判決ヲ變更スルカ如キノ弊ナキヲ保シ難シ然レモ此決定ハ裁判ヲ變更スルコトヲ得ヘキモノニ非サルコトハ勿論ナリ決定ヲ爲スヘキ裁判所ハ判決ノ意味ヲ解釋スルニ止メサルヘカラス極端ノ例ヲ擧ケルハ判決主文ニ執行スヘキ刑ノ明示チキモノアリトセンカ其判決ノ主旨ハ無罪放免ヲ言渡スニ非サルヲ以テ刑ヲ科スルノ主意ナルコト明カナリト雖モ執行官ニ於テ其刑ヲ按出スルヲ得ス然ルニ刑ヲ執行シタルニ依リ異議ノ申立アリタルハ裁判所ハ執行スヘキ刑ナシトノ決定ヲ與ヘサルヘカラス若シ刑ヲ定メテ決定スルカ如キコトアラハ是レ判決ヲ解釋スルニ非スシテ判決ヲ爲スモノナリ

然レモ實際ニ於テ困難ナル問題ヲ生スルハ數罪併發ノ例ニ依リ數罪中一ノ重キニヨリテ處斷シタル判決ノ執行ニアリトス今茲ニ一人ノ被告人ニ三罪併發シテ一ノ判決ヲ以テ數罪併發例ニ從ヒテ處斷シ其内ノ甲罪ヲ尤モ重シト爲シ重禁錮一年ニ處シタリ而シテ其後甲罪ニ對スル刑乃チ重禁錮一十年ノ刑ハ非常上



告ノ結果又ハ大赦等ニヨリテ消滅シタルモハ判決ニハ已ニ執行スルハキ主文ナシ然レモ他ノ二罪ニ對スル判決ハ存在セリ然ラハ執行官ハ其存在スル刑ヲ探リテ以テ執行スルコトヲ得ルヤ若シ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトスレハ刑法第百條ハ執行處分ヲ規定シタルモノニシテ裁判所ハ數罪アレハ其各罪ニ付テ刑ヲ科シ其一ノ重キヲ執行スルハ執行官ニアリトセサルヲ得ス反之刑法第百條ノ一ノ重キニ從テ處斷スト云フハ裁判所ニ命シタル法條ナリトセハ執行官ニ於テハ其一ノ重キ刑ヲ撰シテ執行スルコトヲ得ス依テ前例ノ如クニ一ノ重シト爲シタル刑カ消滅シタル時ハ他ノ罪ニ付テハ刑ノ執行ヲ爲スコトヲ得サルモノト曰ハサルヲ得ス刑法ノ所謂一ノ重キニ從テ處斷スト云フハ其一ノ重キヲ執行スルノ意ニ非ス重キニ從テ判決ヲ爲スヘキノ意ナリ一ノ重キモノトシテ處斷シタル罪カ後日ノ事情ニヨリテ消滅シ從テ執行ス可キ刑モ亦消滅シタル時執行官カ他ノ罪ニ對スル刑ノ内一ノ重キヲ選ヒ執行セシトスルニ當リ被告人之ニ不服ヲ唱ヘタルニ於テハ刑ヲ言渡シタル裁判所ハ重キモノヲ撰シテ執行ヲ爲スコキモノト決定スルコト能ハス何トナレハ其決定ハ判決ヲ解釋スルモノ

ニ非スシテ新タニ判決ヲ爲スモノナレハナリ異議ニ對スル決定ハ執行スヘキ刑ノ性質範圍ヲ解釋スルニ外ナラス  
以上ニ論シタル所ハ判決ニ各罪ニ付テ執行スルコトヲ得可キ刑ヲ定メアル場合ナリ例ヘハ三ヶノ罪アリテ一ノ判決ニヨリテ處斷シ甲罪ハ重禁錮一年乙罪ハ重禁錮六ヶ月丙罪ハ重禁錮三ヶ月トアリテ其甲罪ヲ重シトシテ處斷シ其後ニ於テ甲罪ハ無罪トナリタル時ニ於テ前述ノ如ク決定ヲ以テ執行スヘキ刑ヲ定ムルヲ得ス況ヤ原判決ハ乙丙罪ニ付テハ刑ヲ定メス只一ノ重キモノト爲シタル甲罪ニ對シテノミ刑ノ範圍罰金ノ高ヲ定メタル場合ニ於テ甲罪ノ刑消滅シタルモハ執行ス可キ刑ナシト曰ハサルヲ得ス若シ執行官カ此場合ニ於テ丙罪ニ適用ス可キ法律ニ定メアル刑ノ範圍ハ乙罪ノ刑ノ範圍ヨリ廣キヲ以テ丙罪ヲ重シト爲シテ刑ヲ執行スルト假定センカ被告人ヨリ異議ノ申立ヲ爲ス時ハ裁判所ハ執行スヘキ刑ナシト決定ヲ下スノ外ナカル可シ治罪法原案第六百三十二條ヲ見ルニ疑義又ハ異議ノ申立ヲ受ケタル裁判所ハ判決ニ明記シタル法條ニ掲載シアル刑ヨリ他ノ刑ノ性質ヲ定ムルコトヲ得ス又刑ノ範圍カ法律上同



三ナラサル時ハ解釋ヲ以テ最短期最下額ノ刑ヲ適用ス可シト云ヘリ其意ハ執行ス可キ刑ノ判決ニ定メアラサルハ其刑ヲ定メテ決定ヲ爲スト云フニ非テ執行スヘキ刑アルモ其性質及ヒ範圍ニ付テ異議又ハ疑義ヲ生シタルハ判決ニ明記セル法律ニ定メタル刑ノ性質ニ依リテ之ヲ定メ又範圍ハ被告人ノ利益ヲ爲メニ定メヨト云ラニ外ナラス刑事訴訟法ニアリテ一モ此規定ニ類似ノモノアルコトナシ左レハトテ疑義若クハ異議ノ申立ニ對シテ裁判所ノ決定ヲ以テ新タナル刑ヲ言渡スコトヲ得ルモノニ非ス故ニ判決ニ執行スヘキ刑六キニ至リタルハ決定ヲ以テ架空ニ刑ヲ定ムルコトヲ得ス執行ス可キ判決ナシト爲サレラ得ス

①疑義又ハ異議ニ對スル決定ニ對シテハ抗告ヲ申立ルコトヲ得第三百二十二條此抗告ハ上訴ノ部ニ於テ講究シタル抗告手續ニ於テ爲ス可キモノナルコトハ勿論ナリ此疑義異議ニ對スル決定ハ其實判決ト殆ト同一ノ結果ヲ被刑人ニ及ホスモノニシテ事類ハ重大ナルカ故ニ茲ニ上訴ヲ爲スコトヲ許シタルナリ

②疑義又ハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル者ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニミナリト

ス故ニ檢事ハ此申立ヲ爲スコトヲ得ス何故ニ法律ハ檢事ニ此權利ヲ附與セサルカ執行ノ異議ハ其執行ヲ受クル者ニ於テ不服ナルカ故ニ生スルモノナリ然ルニ檢事ハ執行ヲ受クル者ニ非シテ自ら刑ヲ執行スルモノナルハ異議ヲ申立ツルノ必要ナシ然レモ免訴ヲ言渡シタル判決ヲ執行ス可キ場合ニ於テハ檢事ヨリ異議ヲ申立ツル場合アルコトヲ得ルモノハ如シ例ヘハ判決ノ理由ニ依ルハ甲者コト放免トナル可キニ注文ニヨリテ見レハ乙者ヲ放免ストアルハ如キ是ナリ然レモ其執行ハ檢事ノ爲ス所ナレハ自己ノ所爲ニ對シテ自ら異議ヲ申立ルコトヲ得ヘカラス此場合ニ於テハ甲者ハ或ハ執行ニ對シテ異議ヲ申立ルコトヲ得ヘキナリ故ニ第三百二十二條ハ一ニ刑ノ言渡ヲ爲シタルモノハミニ疑義異議ノ申立ヲ許シ檢事ニハ毫モ其權利ヲ附與セサルナリ

疑義ノ申立ニ至リテハ獨リ刑ノ執行ヲ受クルモノハミ之ヲ爲スノ必要アルニ非ス檢事モ亦執行ヲ爲サントスルニ當リ判決ニ明瞭ヲ闕キ疑義ヲ生スルコトヲ免カレスル場合ニ於テハ檢事ニモ疑義ノ申立ヲ許スヘキカ如シ然レモ第三百二十二條ニハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者其言渡ニ付キ疑義ノ申立云トアリテ



申立ヲ爲ス者ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ限定セリ故ニ檢事ニ此申立ヲ爲スノ權アリトハ解釋スルヲ得ス蓋シ判決ノ執行ハ檢事ノ職權ニ屬スルヲ以テ刑ノ範圍性質及ヒ被刑人ノ何人ナルカハ檢事カ判決ニ依リテ定ムル所ナリ其之ヲ定メ執行スルニ當リ始メテ疑義ヲ生スルモノナレハ其申立ヲ爲スヘキハ被刑人ニシテ檢事ハ之ヲ申立ツヘキ地位ニ在ルモノニ非ス寧ロ此申立ニ付キ對手人ノ位置ニ在ルモノナレハナリ

○疑義又ハ異議ノ申立アリタルハ刑ノ執行ヲ停止スヘキモノナルカ法律ニ於テ停止スルノ明文ナケレハ何レノ刑ニテモ其執行ハ此申立ノ爲メ妨止セラズトナキカ如シ獨乙刑事訴訟法第四百九十條ニ依レハ疑義異議ノ申立アリタルカ爲メ執行ヲ停止セス然レモ裁判所ハ執行ノ停止又ハ中斷ヲ命スルノ權能ヲ有スルモノトセリ一般ニハ執行ヲ停止セザルヲ以テ相當ナリトス何トナレハ此申立ハ判決ノ確定ヲ動カスモノニ非サレハナリ然レモ死刑ノ如キ回復スヘカラサル結果ヲ生スルモノニ至リテハ疑義異議アルニ拘ラス之ヲ執行スルニ於テハ此申立ハ何ノ爲メニ許シタルカ其法意ヲ解スル能ハサルヘシ故ニ

如斯刑ニ付テハ裁判所ニ停止ヲ命スルノ權アリトスヘキナリ禁錮ノ如キ刑ニ付テハ之ヲ執行スルモ疑義異議ノ申立ニ對スル決定ニ依リ變更スルヲ得ヘケルハ執行ヲ停止スルノ必要ナシ

### 第二章 復権

復権ノ制ハ被刑人ノ善行ニ復スルヲ獎勵スルノ目的ニ出テタルモノナリ刑ノ結果ニヨリテ公權ヲ喪失シタルモノハ如何ニ過ヲ悔ヒ行ヲ改ムルモ終身良民ト齒スルコトヲ得ストセンカ其人ノ失望ハ却テ自棄ノ念慮ヲ惹起シ更ニ一層ノ惡事ヲ爲スコトヲ意ニ介セサルニ至ラン故ニ社會公益上ノ必要ヨリシテ復権ノ制度ヲ設ケ刑ニ依リテ喪失シタル公權及ヒ刑ニ依リテ生シタル不能力ヲ回復セシム

公權ヲ剝奪セラレタル者復権ヲ得ルニハ刑法第六十三條ノ規定ニ從ヒ左ノ條件ヲ要ス

- 第一、主刑ノ執行ヲ終リタルコト
- 第二、主刑ノ執行ヲ終リタル日ヨリ五年ヲ經過シタルコト但主刑ノ時効ヲ得



タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ經過スルヲ要ス  
 以上ノ年限ヲ經過シタル後ニ非サレハ復權ヲ請求スルノ權利ナシ故ニ刑事訴  
 訟法ニ於テ定メタル復權ノ手續ハ皆此期間ヲ經過シタル後ニ行フモノト知ル  
 可シ  
 然レモ大赦ニヨリテ免罪ヲ得タルモノハ直チニ復權ヲ得又特赦ニヨリテ免罪  
 ヲ得タルモノハ特ニ赦狀中ニ復權ヲ明記シタル片ハ直チニ復權ヲ得刑法第六  
十四條  
 若シ復權ノ明記ナキ片ハ前ニ定メタル期間經過ノ後ニ非サレハ復權ヲ請求ス  
 ルコトヲ得ス  
 刑事訴訟法ハ刑法ニ定メタル復權ヲ願ヒ及ヒ之ヲ與フルノ手續ヲ示シタルモ  
 ノカリ而シテ其復權ハ一ニ刑ニ依リテ權利ヲ失フタルモノトシテ利害ニ關係スルヲ  
 以テ官自ラ起リテ復權ヲ爲サシムルモノニ非ス故ニ第三百二十四條ニ規定セ  
 ル如ク復權ハ刑ノ言渡ヲ受ケタルモノヨリ刑法第六十三條ニ定メタル期間經  
 過シタル後司法大臣ニ向テ之ヲ爲ス可キモノナリ而シテ此願ハ必ス書面ヲ以テ  
 之ヲ行ハカラス其復權ノ願書ハ直チニ司法大臣ニ差出ス可キモノニ非スシテ

現ニ住スル地ノ地方裁判所ノ檢事ヲ經テ差出ス可キモノトス蓋シ其現ニ住ス  
 ル地ノ地方裁判所ノ檢事ハ被刑人ノ諸般ノ行狀ヲ熟知スルヲ以テ此檢事ヲ經  
 由シルコトハ司法大臣カ復權ヲ許否スルニ當リテ大ニ利益アルモノナレハナリ  
第三百  
二十四條  
 復權ヲ請求スルニハ書面ヲ以テ爲ス可キコトハ前述ノ如シ而シテ其復權ノ願書ニ  
 ハ復權ヲ許否スル官廳ヲシテ調査ヲ爲スニ便利ナラシムル爲メニ其復權ヲ得  
 可キモノナルヤ否ヤヲ證明スルニ足ルヘキ書類ヲ附添スルコトヲ必要トス故ニ  
 第三百二十五條ハ左ノ書類ヲ添ユヘシト爲シタリ  
 第一、判決ノ正本  
 判決書ハ其復權請願者カ如何ナル刑ニ處セラレタルカヲ證明スルモノナリ  
 犯罪ノ性質ニヨリテ其刑ノ輕キモ破廉恥ノ尤モ甚シキモノアリ又其刑重キ  
 モ道德上ニ於テ左程賤ム可キニ非サルモノアリ例ヘハ詐欺取財ノ犯罪ニヨ  
 リテ刑ニ處セラレタルモノト毆打罪ニヨリテ處罰セラレタルモノアランニ  
 詐欺取財ノ刑或ハ毆打罪ノ刑ヨリ輕キ場合ナキニ非サルモ若シ其毆打罪ノ



被刑者ハ一時人ヨリ自己ノ名譽ヲ毀損セラレタリト誤信シ劇怒ノ情遂ニ禁  
スル能ハスシテ罪ヲ犯シタルカ如キハ彼ノ利慾ノ情ヲ制スル能ハスシテ他  
人ノ財物ヲ奪取シタルモノト比スレハ德義ヲ破ルノ點ニ於テ最モ輕シトス、  
而シテ復權ハ失却シタル公權ヲ回復スルモノニシテ被刑人カ真心悔悟シテ行  
狀ヲ改メ他ノ良民ト齒スルノ價値アル時ニ於テ之ヲ與フルモノナリ故ニ復  
權ヲ許スルニハ嘗テ犯シタル犯罪ノ性質ハ大ニ關係アルモノナリ是レ判  
決正本ヲ差出サシメテ嘗テ犯シタル犯罪ノ如何ナルモノナルヲ知ラシムル  
所以ナリ

第二、主刑ノ滿期特赦ト爲リ又ハ時効ノ成就シタルトテ證明スル書類  
刑法第六十三條ニ規定シタル如ク主刑ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過シタル  
後其情狀ニ因リ將來ノ公權ヲ復スルトテ得ルモノナレハ主刑ノ滿期ヲ證明  
スル書類ヲ差出サシムルトテ要ス又特赦アリタル時ハ主刑ハ其特赦ニヨリ  
テ執行ヲ止息シ滿期ト同一ナルヲ以テ特赦ヲ得タルモノ復權ヲ請願スルニ  
ハ其特赦ヲ證明スルモノヲ差出サシムルハガラス又刑法第六十三條第二項ニ

主刑ノ時効ヲ得タルモノモ復權ヲ得ルノ資格アリトス故ニ其時効ノ成就シ  
タルトテ證明スル書類ヲ呈出セサルヲ得ズ元來主刑ノ滿期トナリタル時  
ハ之ヲ證明スル書類ヲ得ルハ容易ナルヘシ例ヘハ監獄署ノ書類又ハ判決  
書ニヨリテ證明スルトテ得ヘシ特赦ニ依リテハ特赦狀又ハ監獄署ノ書類ニ  
テ證明スルトテ得ヘシ時効ハ受ク可キ刑ヲ受ケスシテ經過シタル場合ニ生  
スルモノナレハ前二ノ場合ニ於ケルカ如ク書類ヲ以テ證明スルトテ困難ナ  
ル可シ然レモ檢察ニ請求シテ時効成就ノ證明書ヲ得テ之ヲ差出スヲ得ヘシ  
其他刑ノ執行ヲ逃レテ住居シタル土地ニ住居シタル人ヲシテ證明書ヲ作ラ  
シメ之ヲ出スヲ得ヘシ是等ノ證明書ト雖モ判決ヲ爲スニ非サル以テ判斷  
ノ材料ニ供スルモ敢テ妨ケナシ

第三、假出獄及ヒ假ニ監視ヲ免セラレタル證書  
假出獄ハ刑法第五十三條ニ定タル如ク獄則ヲ謹守シ悔改ノ狀アルモノニ限  
リテ之ヲ許スモノナリ又監視ハ刑法第四十一條ニ定メタル如ク情狀ニ因リ  
行政處分ヲ以テ之ヲ許スモノナリ此假出獄又ハ監視ヲ免ハ復權ヲ得ルヲ



一條件ニハアラサルモ何レモ非行ヲ悔悟シテ其品行ヲ改メタル一ノ條件トナルモノナルヲ以テ復権ヲ許スニハ大ニ參考トナルモノナリ故ニ復権ヲ請願スルモノハ假出獄監視ノ假免ヲ得タルモノナレハ之ヲ證明スヘキ書類ヲ得テ復権ノ願書ニ添ヘテ差出ス可キモノナリ

第四、賠償及ヒ訴訟費用ヲ辨濟シ又ハ其義務ヲ免カレタル證書

賠償及ヒ訴訟費用ノ義務ヲ果サスト雖モ刑法ニ定メタル條件ヲ具ヘ復権ヲ得可キ人ニシテ果シテ品行ヲ改メ良民ト齒シテ恥チス良民モ其嘗テ罪人タリシコトヲ意トセサル時ハ復権ヲ與スルモ妨ケナシ然レモ財產ノ負擔ヲ免脱セサルモノニアリテハ未タ一箇人ニ對シ又ハ社會ニ對シテ刑罰ヨリ生シタル義務ヲ履行セシモノト云フコトヲ得サルモノ蓋シ許多ナラン故ニ此免責ノ證書ハ之ヲ必要ノ條件トナサスト雖モ若シ之ヲ差出サタル時ハ請願者ニ對シテ復権ヲ與フ可キヤ否ヲ判斷スルニ於テ大ニ影響アルヘシ其責任ヲ盡サハル人ニ在リテハ復権ノ價值ナキモノ多カルベシ

第五、復権請願者ノ過去現在ノ住所及ヒ生計ヲ記載スル書類

本項ノ證明ハ公權ヲ回復セシムルニ適當ナル人ナルヤ否ヲ調査スルニハ尤モ必要ナルモノナリ例ヘハ品行ハ別段ニ賤シム可キモノニ非サルモ若シ一定ノ住居モナク又是ト云フ生計ノ道モナキモノナラシニハ未タ公權ヲ與ヘテ良民ト齒セシムルノ資格アルモノトハナス能ハス

以上述ヘタル證明ハ第三百二十五條ニ依レハ復権ノ願書ニ添フ可シトアルヲ以テ必要條件ニシテ之ヲ添ヘサル時ハ復権ヲ得ルヲ能ハサルカ如シ第二項ノ書類ハ復権ノ必要條件ヲ證明スルモノナルヲ以テ必ス之ヲ要スヘキモ其他ノ書類ニ至リテハ只復権ノ許否ヲ判斷スルノ材料ニ供スルモノニシテ必要條件トスルニ非ス

第二項ノ假出獄監視ノ假免ノ如キハ其之ヲ得タル者ハ之ヲ差出スヘシト云フニ過キヌ若シ否ストシ之ヲ必要條件ト爲スニ於テハ假出獄監視ノ假免ヲ得タル以外ノ受刑人ハ終ニ復権スルヲ得サルヘキナリ

以上ノ書類ヲ添ヘタル願書ハ請願者カ現ニ住スル地方裁判所ノ檢事ニ差出スモノニシテ檢事之ヲ受取リタル時ハ其請願者ノ品行其他必要ノ取調ヲ爲



シ其書類ニ意見書ヲ添ヘテ之ヲ檢察長ニ差出ス可シ第三百二十六條復権人其本來  
行政處分ニ屬シ檢察事ハ單ニ意見ヲ附シ其事件ヲ檢察長ニ送附スルニ止マラス  
シテ其送付前ニ必要ノ取調ヲ爲スノ責務アリトス其送付ヲ受ケタル檢察長ハ  
更ニ必要ナル取調ヲ爲スノ責務アリトス其送付ヲ受ケタル檢察長ハ更ニ必要  
ナル取調ヲ爲シ復権願ニ關スル書類ニ意見書ヲ添ヘテ之ヲ司法大臣ニ差出ス可  
キモノトス第三百二十七條

司法大臣ハ檢察長ヨリ復権願ニ關スル書類ヲ差出シタル時ハ其書類ヲ檢閱シ  
之ニ意見書ヲ添ヘ速カニ上奏ヲ爲ス可シ第三百二十八條刑法第六十五條ニ曰ク如ク  
復権ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ得可カラズ第六十六條故ニ司法大臣ハ復権ノ願ヲ許否  
スルノ職權ナク意見ヲ具シテ上奏ヲ爲スニ止マリ許否ハ勅裁ニアリトス蓋シ  
復権ハ裁判ノ威力ヲ變更スルモノナレハ行政官廳ハ勿論裁判所ト雖モ爲シ得  
ヘキモノニ非ズ只最上主權ノ勅裁ニヨリテ其變更ヲ爲スモノヲ得ルモノナリトス  
司法大臣ヨリ復権ノ上奏ヲ爲シタル時ハ勅裁ニヨリテ其願書ヲ却下シ又ハ裁  
可ナルモノナリ

勅裁ニ因リ復権ノ願書ヲ却下セラレタル場合ニ於テハ司法大臣ヨリ其旨ヲ檢  
事長ニ通知シ檢察長ヨリ其願書ヲ差出シタル檢察事ニ通知ス可シ第三百二十九條第一項  
復権ヲ請願スル者ハ其願ヲ爲スカ爲メニハ自己ニ對シテハ不利利益ナク出來  
ル丈ケハ爲サシト欲スルハ人情ノ常ナリ而テ復権願ハ請願ナレハ裁判ト異ナ  
リテ一度却下セラレタリトテ其請願ノ權利ヲ失却スルモノニ非ズ故ニ却下ヲ  
受ケタル者ハ又直チニ請願ヲ爲スヤモ計ラレズ然レモ今日復権ヲ得可キ人價  
値ナキ人トシテ却下セラレ明日直チニ其價值ヲ得ルノ理由アルコトナケレバ再  
ビ復権願ヲ爲スニ付テハ法律ハ制限ヲ定メタリ乃チ復権願ヲ却下ヲ受ケタル  
場合ニ於テハ刑法第六十三條ニ定メタル期間ノ半ハヲ經過スルニ非サレハ更  
ニ其願ヲ爲スコトヲ得スト第三百二十九條第二項刑法第六十三條ニヨレハ主刑ノ終リタル  
ヨリ五年ヲ經過スルノ後公權ヲ回復スルコトヲ得又主刑ノ期滿免除云々五年ヲ  
經過スルノ後亦同シトアルヲ以テ復権ヲ再請願ヲ爲スモノハ却下ヲ受ケタル  
日ヨリ二年ヲ經過シタル後ニ非サレハ更ニ其願ヲ爲スコトヲ得ス其二年半ヲ經  
過シタル時ハ第一ノ請願ニ於テ未タ復権ヲ與ラヘキ價值ナシト爲シタルモ



ノモ其後ノ歲月間ニ於テ真心悔悟シテ復權ヲ得ルノ資格ヲ具ルコトアルヘシ故ニ其年限ヲ經過シタル時ハ更ニ請願ヲ爲スコトヲ許ス而シテ其再ヒ復權ヲ願フ者ハ始メノ請願ト同一手續ニ從フテ之ヲ爲スコキナリ第三百二十項蓋シ第一ノ復權ヲ却下セシ時ハ其人ニ對シテ復權ヲ得セシムルノ資格ナシトシタルハ其願書及ヒ證明書ハ用ヲ爲スモノニ非ス故ニ再ヒ請願ヲ爲スルハ更ニ其資格アルコトヲ證明セサルヘカラス

復權ノ裁可アリタル場合ニ於テハ司法大臣ヨリ復權ノ裁可狀ヲ檢事長ニ送致シ其送致ヲ受ケタル檢事長ハ之ヲ願書ヲ差出シタル地方裁判所ノ檢事ニ送致スヘシ其裁判所檢事ハ一面ニハ裁可狀ノ謄本ヲ願人ニ下附シ他ノ一面ニハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ニ裁可狀ノ謄本ヲ送致シ其原本ハ檢事局ニ保存ス可シ而シテ其裁可狀ノ謄本ヲ受ケタル裁判所ニ於テハ復權ノ裁可アリタル旨ヲ判決原本ニ記入シ置ク可キナリ第三百三十條

復權ノ裁可ヲ得タル願人ニアリテハ剝奪セラレタル公權ヲ回復シ他ノ良民ト同一ニ公權ヲ行フコトヲ得ルモノナリ然レモ刑法第六十三條ニハ將來ノ公權ヲ

復スルコトヲ得トアリテ復權ハ既往ニ遡ルモノニ非ス故ニ復權ノ裁可ヲ得タルモノト雖モ其裁可以前ハ公權ナキモノニシテ復權ヲ得タリトテ以前ニ遡及シテ之ヲ行ハント主張スルコトヲ得ス又衆議院議員撰舉權ノ如キハ撰舉期日ノ前ニ於テ復權ヲ得ルモ撰舉人名簿確定後ナルニ於テハ確定前ニ遡及シテ撰舉權ヲ行フヲ得ス

刑事上ノ復權ト商事上ノ復權ハ別種ノモノニシテ之ヲ混淆スルコトナカルヘシ商法第五十四條ニ依レハ破産宣告ヲ受タル債務者又ハ破産シタル商事會社ノ無限責任社員若クハ取締役ハ其破産ノ制裁トシテ取引所ニ立入ルコト仲立人ト爲リ合名會社若クハ合資會社ノ社員ト爲リ又ハ株式會社取締役ト爲ルコト清算人破産管財人若クハ商事代人ノ職ヲ執ルコト商業會議所ノ會員ト爲ルコト其他商業上ノ榮譽職ニ就クコトヲ得サルモノトス是等ノ失權ハ復權ノ申立ニ依リ後日之ヲ回復スルコトヲ得商法第五十五條以下然レモ其失權ハ刑ノ結果ニ非スシテ破産宣告ヨリ生スルモノナレハ其復權ハ破産ノ結果ヲ除却スルモノナリ刑事上ノ復權ハ刑ノ執行ヲ消滅セシメ其結果ヲ除却スルモノナリ其手續ニ於テモ彼ハ破



産裁判所ノ決定ヲ以テシ是ハ勅裁ニ因ルカ如キ大差アリ斯ク其名ハ均シク復  
 権ナルモ其性質ヲ異ニスルヲ以テ刑事上ノ復権ト必シモ併行スルモノニ非ス  
 商事上ニ於テハ復権スルモ刑事上ニ於テハ復権セサルコアルヘシ然レモ刑事  
 上ノ復権アリシハ商事上ノ復権ト同一ノ結果ヲ生スルコアリ以下ニ之ヲ述  
 へん

有罪破産就中詐欺破産ニ付テハ前ニ述ヘタル商事上ノ失權ト刑事上ノ公權剝  
 奪ト併存スルコアルヘシ此場合ニ於テ破産者ハ商法第千五百五十八條ノ條件ニ  
 從ヒ商事上ノ復権ヲ得タルト雖モ刑事上ノ復権アルニ非サレハ刑法第三十  
 一條第一號乃至第七號及ヒ第九號ノ公權ヲ回復セサルヤ論ヲ俟タス然レモ其  
 第八號ノ分散者ノ管財人ト爲リ又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理スルノ權ニ至リ  
 テハ商法第千五百五十四條ニ於テモ會社ノ取締役清算人若クハ破産管財人ト爲ル  
 ノ權ハ商事上ノ復権ニ依リテ之ヲ得ルモノトスルカ故ニ商事上ノ復権ヲ以テ  
 刑事上ノ復権ノ有無ニ拘ラス刑法第三十一條第八號ノ公權ヲ回復スルモノ、  
 如シ然レモ商法ハ其否ヲサルノ精神ヲ明ニシ其第千五百五十八條ニ復権ハ詐欺破

産ノ爲メニ判決ヲ受ケタル破産者ニハ之ヲ許サ、ルモノトセリ故ニ此破産ニ  
 依リ輕懲役ニ處セラレタル者ハ商事上ノ復権ヲ得ルコナシ

然レモ刑法ハ罪ノ性質ニ依リテ復権ヲ許否スルノ區別ヲ爲サ、ルヲ以テ詐欺  
 破産者ト雖モ或ハ刑事上ノ復権ヲ得ルコアルヘシ此場合ニ於テ商法第千五十  
 四條ニ列舉セル權利ノ内例ヘハ株式會社ノ取締役ト爲ルコ及ヒ清算人若クハ  
 破産管財人ノ職ヲ執ルコノ如キハ刑事上ノ復権ニ因リテ此破産者ト雖モ回復  
 スルコヲ得ルカ將テ商法第千五十八條ニ詐欺破産者ニハ復権ヲ許サスト規定  
 セシハ刑事上ノ復権ニマテ右ノ權利ニ付テハ制限ヲ與ヘタルモノナルガ刑法  
 第三十一條第八號ノ所謂分散人ノ管財人又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理スルノ  
 權ト商法第千五十四條ニ列舉スル會社ノ取締役清算人破産管財人ト爲ルノ權  
 ハ同一物ナルコトハ多辯ヲ要セスシテ明ナリ少クモ分散人ノ管財人ト破産管財  
 人トハ異別ノ管財人ナリトハ云フヲ得ヘカラス刑法ヲ頒布スルノ當時ニテハ  
 分散破産ノ區別ナク民事商事共ニ分散ノ名稱ヲ用ヒタレハ刑法ノ分産ニハ破  
 産ヲモ包含スルモノト云ハサルヲ得ス然レモ商法第千五十八條ハ刑事上ノ復



權ヲ得タル者ト雖モ是等權利ヲ回復スルコトヲ得スト云フニハアラサルナリ本  
 條詐欺破産者ハ破産裁判所ニ復權ノ申立ヲ爲スモ裁判所之ヲ許サスト云フ  
 ニ在リテ若シ最上主權カ刑ノ執行ヲ全ク消滅セシムルカ爲メ刑事上ノ復權ヲ  
 與ヘ其結果トシテ取締役清算人管財人トナルノ權ヲモ回復セシメタルキハ其  
 人ハ別段破産裁判所ニ復權ノ申立ヲ爲スノ必要ナケレハ第千五十八條ノ爲メ  
 ニ回復シタル權利ノ行使ヲ妨ケラレルコトナカルヘシ既ニ是等ノ權利ハ刑事上  
 ノ復權ニ因リテ回復スルコトヲ得ルモノトスル以上ハ第千五十四條ニ掲擧セル  
 其他ノ權利即チ取引所ニ立入ルコト仲立人ト爲シ合名會社若クハ合資會社ノ社  
 員ト爲リ商事代人ノ職ヲ執ルコト商業會議所ノ議員トナルコト其他商業上ノ榮譽  
 職ニ就ク權ノ如キモ刑事上ノ復權ニ因リテ之ヲ行フコトヲ得ルモノトスヘシ何  
 トナレハ是等ノ權利ハ公益ニ關スルヲ以テ破産者ニ之カ行使ヲ禁ス然ルニ其  
 人既ニ公權ヲ回復シ刑ノ結果サヘ全ク除却セラレタレハナリ

**第三章 大赦及ヒ特赦**

大赦特赦共ニ刑ノ執行ヲ消滅セシムルモノナリト雖モ其性質ニ於テハ大ニ異

ナル所アリ大赦ハ社會ヲシテ裁判上全ク罪ヲ遺忘セシメ初ヨリ罪ナク刑ナキ  
 モトト見做スニアリ故ニ刑ノ言渡ヨリ生シタル諸般ノ結果ハ悉ク之ヲ除却ス  
 特赦ハ只刑ノ執行ヲ免スルニ止マリ罪アリ刑アリ其人ハ依然刑人タルヲ免カ  
 レス故ニ其刑ハ結果尙ホ存スルコトアルヘシ

今大赦ト特赦ニ付テ其重ナル差異ヲ擧クレハ左ノ如シ

一、大赦ハ事件ニ對シテ行フモノナリ即チ明治二十二年憲法ヲ發布セラレニ  
 當リ其盛典ヲ表シ惠澤ヲ施サルハカ爲メ勅令第十二號ヲ以テ行ハセラレタ  
 ル大赦ハ人ニ對シテ行フニ非ス本勅令發布以前ニ於テ何々ノ罪ヲ犯シタル  
 者ハ赦免ストアリテ刑人ト何人タルヲ問ハス本令ニ指定シタル法律ヲ以テ  
 處罰シタル者ハ之ヲ赦免セラレタリ

特赦ハ人ヲ目的トシ事件ニ對スモノニ非ス後ニ見ル如ク刑事訴訟法ニ規定  
 セル特赦ノ手續ハ皆人ヲ指定シテ之ヲ行フモノトス故ニ同一ノ事件ニテ處  
 罰セラレタル者ト雖モ一ハ特赦ヲ受テ他ハ之ヲ受ケサルコトアリ

二、大赦ハ犯罪行為ナキモノトスルヲ以テ全刑ノ執行ヲ免スルニ止マラス其



裁判ノ全部ヲ消滅セシム特赦ハ犯罪行為ナシトスルニ非サルヲ以テ全部若クハ一部ノ執行ヲ免スルマテニシテ其裁判消滅スルコトナシ然レモ私訴判決ハ公訴判決ニ附帶スルモノナリト雖モ一旦裁判アリタル止ハ一方ニハ民事上ノ權利ヲ得他ノ一方ニハ之ニ對スル義務ヲ生スルモノナリ而シテ其權利義務ハ私益上ノ關係ナレハ最上主權ト雖モ之ヲ動カコトヲ得ヘカラス

三、大赦ハ必シモ裁判後ニ之ヲ行フニ非ス裁判前ト雖モ大赦ヲ以テ公訴ヲ消滅セシムルコトヲ得ルモノナリ刑訴第五條第六蓋シ大赦ハ事件全体ヲ犯罪行為ニ非スト爲スモノナレハ未タ裁判アラサル前ニ於テ總テノ刑事訴訟ヲ止息セシムルコトナカラサルヘカラスナリ特赦ハ裁判確定ノ後ニ非サレハ之ヲ行フヲ得ス同第三百三十一條

四、大赦ハ國事犯若クハ特別犯罪事件ニ對シテ行フノミ明治廿二年勅令第十二號大赦令ノ如キハ皇族ニ對スル罪國事ニ關スル罪兇徒聚集罪保安條例集會條例爆發物取締罰則新聞紙條例出版條例罪ニノミ大赦ヲ行ハセラレタリ特赦ハ一般ノ犯罪ニ適用シ國事常事ヲ區別セス

五、大赦ニ因リテ赦免セラレタル者ハ直チニ復權ヲ得ルモノトス蓋シ罪ナク刑ナケレハ一時失フタル公權ハ他ノ手續ヲ要セス當然回復スヘキナリ之ニ反シ特赦ハ罪ナシトスルニ非スシテ只其刑ヲ免スルマテナレハ其赦狀中ニ復權ノ事ヲ記載シアルニ非サレハ之ヲ得ヘカラス刑法第六十四條

六、大赦ヲ受ケタル者ハ再ヒ罪ヲ犯スモ再犯ヲ以テ論セス特赦ヲ受ケタル者ハ再ヒ罪ヲ犯スルハ再犯加重例ニ依リテ處斷ス是レハ先キニ犯シタル罪ナク受タル罪ナク他ハ一度罪ヲ犯シ刑ヲ受ケタルモノナレハナリ

大赦特赦共ニ 天皇ノ惠澤ニ出ルモノナリ故ニ之ヲ與ヘルト否サルトハ刑事ニ關スル法律ノ支配スル所ニ非ス殊ニ大赦ハ專ラ施政上ノ便宜ニ出テ他ノ上奏ヲ俟タス之ヲ許與スルモノナレハ憲法第十六條ニ大赦ヲ命スルノ大權ヲ記載シタルノ外別ニ其手續等ヲ規定シタル法律ナシ特赦ハ刑人カ行狀ヲ改メ其刑ヲ免スルモ社會ニ於テ危險ナシトシタル片司法部ヨリ上奏スルモノトナスカ故ニ刑事訴訟法ニ其手續ヲ規定セリ

特赦ニ二種アリ一ハ刑ノ全部ヲ免スルモノ之ヲ單ニ特赦ト云ヒ他ノ一ハ刑ノ



一分ヲ免スルモノ之ヲ減刑ト云フ例ハ十年ノ徒刑ニ處セラレタル者ニ對シ  
 特赦ヲ以テ刑期ヲ五年ニ減シタルルル如シ此二種ノ區別ハ刑法及ヒ刑事訴訟  
 法ニ明文ナシト雖モ憲法第十六條ニ 天皇ハ特赦減刑ヲ命ストアリ其減刑ハ  
 刑法ノ所謂減刑ニ非ス特赦ノ一種ナリトス減刑ハ刑ノ性質ヲ變更スルモノニ非  
 ス刑期ヲ減縮スルノミ若シ刑ノ性質ヲ變更スルルハ裁判ヲ變更スルモノニシ  
 テ特赦ノ性質ニ反ス徒刑ノ刑期ヲ減縮シテ懲役ノ刑期ト同一ニ爲スモ刑ハ徒  
 刑ナレバ只其刑苦ノ一分ヲ減スルニ過キサレバ以テ敢テ妨ケナシトス  
 特赦ハ刑ヲ言渡シタル裁判カ法律ニ基キ被告人ノ權利トシテ上訴スルヲ得  
 ヘキ程度ニアルルルハ之ヲ與フヘキモノニ非ス故ニ第三百三十一條ハ刑ノ言渡  
 確定シタル後ニ申立ツルヲ得ルモノト規定セリ判決カ猶上訴期間内ニアル  
 ルハ被告人自ラ充分其判決ヲ攻撃シテ變更セシムルヲ得可キヲ以テ敢テ特  
 赦ノ必要ナシ若シ事件カ第二審ニ在ルハ特赦ヲ與フルトセンカ上告ヲ爲シテ  
 其結果最上權ノ與ヘタル特赦ノ効力ヲ變更スルカ如キ奇怪ナル結果ヲ生セン  
 特赦ハ刑ノ言渡確定後ニ行フモノニシテ法律ハ其期間ヲ定メス第三百三十一

條ハ言渡確定後ハ何時ニテモ之ヲ申立ツルヲ得ルモノトセリ  
 特赦ノ申立ヲ爲スヲ得ル者ハ何人ナルカ第三百三十一條ハ左ノ官吏ノミ申  
 立ヲ爲スヲ得ルモノトセリ  
 第一、 刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所檢察  
 第二、 監獄署長

監獄署長ヨリ特赦ノ申立ヲ爲スルハ檢察ヲ經由ス可シ其申立ヲ受ケタル檢  
 事ハ必ス意見書ヲ添ユヘキモノトス  
 檢察又ハ監獄署長ヨリ特赦ヲ申立ツルニハ犯人ノ情狀ヲ具申シ特赦ノ許否  
 ニ付充分ナル調査ヲ爲スヲ得ル材料ヲ備ヘルヲ要ス而シテ特赦ハ裁判事務  
 ニ非サルヲ以テ裁判所ニ爲ス可キモノニ非スシテ司法行政ノ首領タル可キ  
 司法大臣ニ爲スモノトス又特赦ハ天皇陛下ノ大權ニ屬スルヲ以テ司法大臣  
 ハ檢察若クハ監獄署長ヨリ特赦ノ申立アリタル時ハ其書類ニ意見書ヲ添ヘ  
 上奏ヲ爲ス可キナリ

第三、 司法大臣



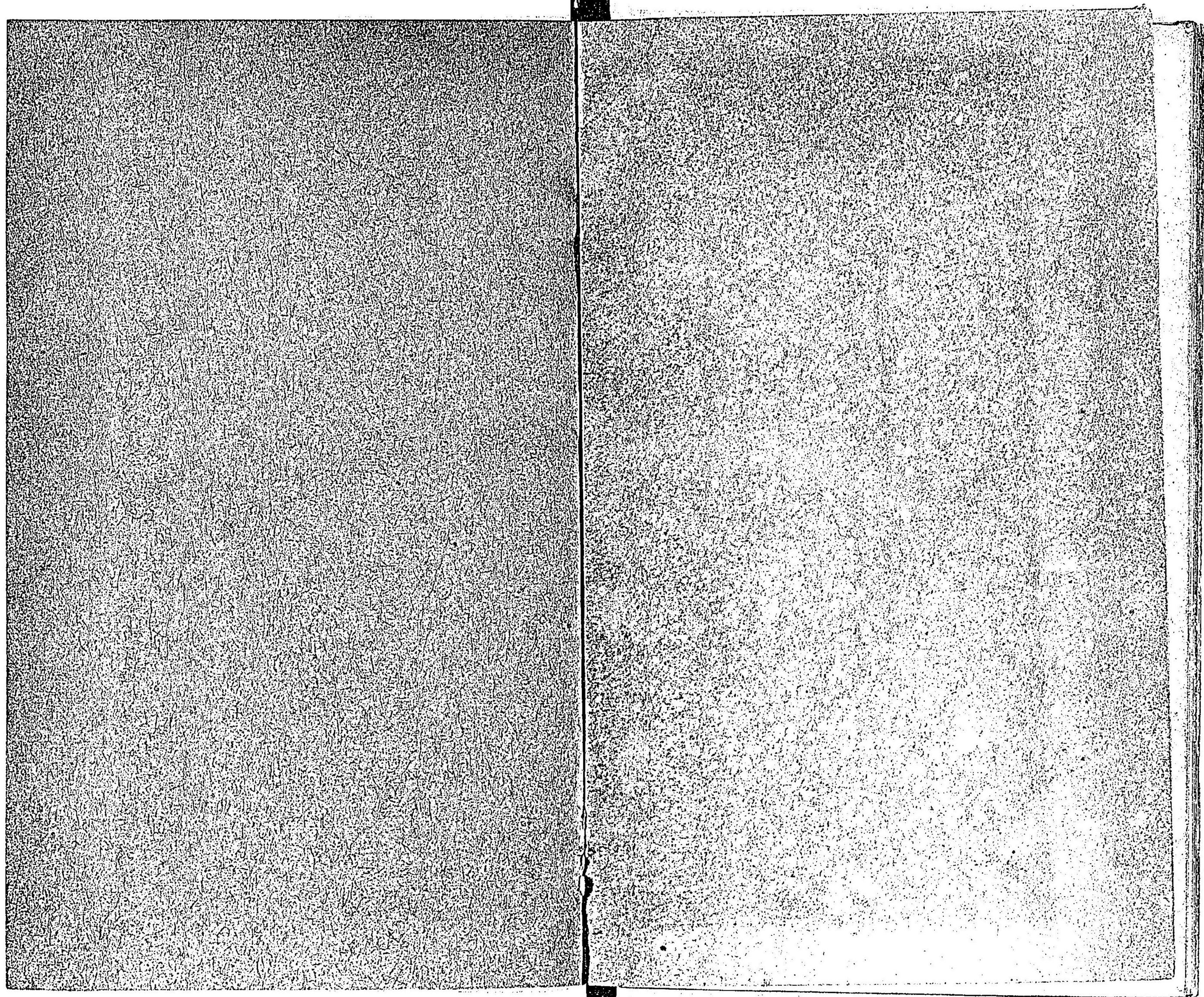




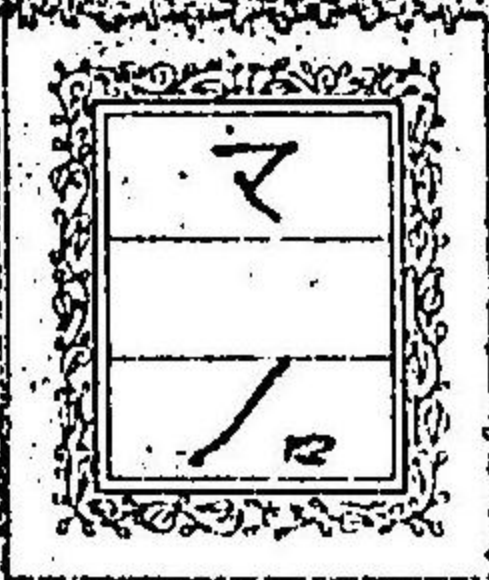
判所ノ檢事ニ通知ス第三百三十三條然レ之ヲ被刑人ニ通知スルノ必要ナシ  
 持赦ノ裁可アリタル時ハ司法大臣ヨリ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ持  
 赦狀ヲ送致ス可シ第三百三十四條而シテ其送致ヲ受ケタル檢事ハ持赦狀ノ謄本ヲ一方  
 ニ向テハ被刑人ニ下附シ他ノ一方ニ向テハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ニ送致  
 ス其裁判所ハ判決ノ原本ニ記入スルモノトス  
 司法大臣ヨリ持赦ノ申立ノ却下ヲ通知シ又ハ持赦狀ヲ送致ス可キハ刑ノ言渡  
 ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ナリトス其現ニ刑ノ執行ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ  
 通知又ハ送致ヲ爲スヘントハナサ、ルナリ故ニ上告ニ依リ擬律ノ錯誤アリト  
 シテ上告裁判所自ラ刑ノ言渡ヲ爲シタルモノニ係ル時ハ其却下ノ通知又ハ持  
 赦狀ノ送附ハ上告裁判所ノ檢事ニ之ヲ爲スヘシ蓋シ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判  
 所ノ檢事ハ裁判ノ結果ヲ知ル可キモノナレハ此檢事ノ知ラサルニ刑ノ執行ヲ  
 免スルカ如キヲアラサルカ爲メナリ  
 復權ニ付テハ其願却下セラレタル時ハ或期間ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ願ヲ  
 爲スコトヲ得サルノ制限アリ是レ復權ハ本人ヨリ爲スモノナルヲ以テ此制限ヲ

置クノ必要アリト雖モ持赦ハ官憲自ラ申立ヲ爲スモノナレハ此制限ヲ置クノ  
 必要ヲ見サルナリ

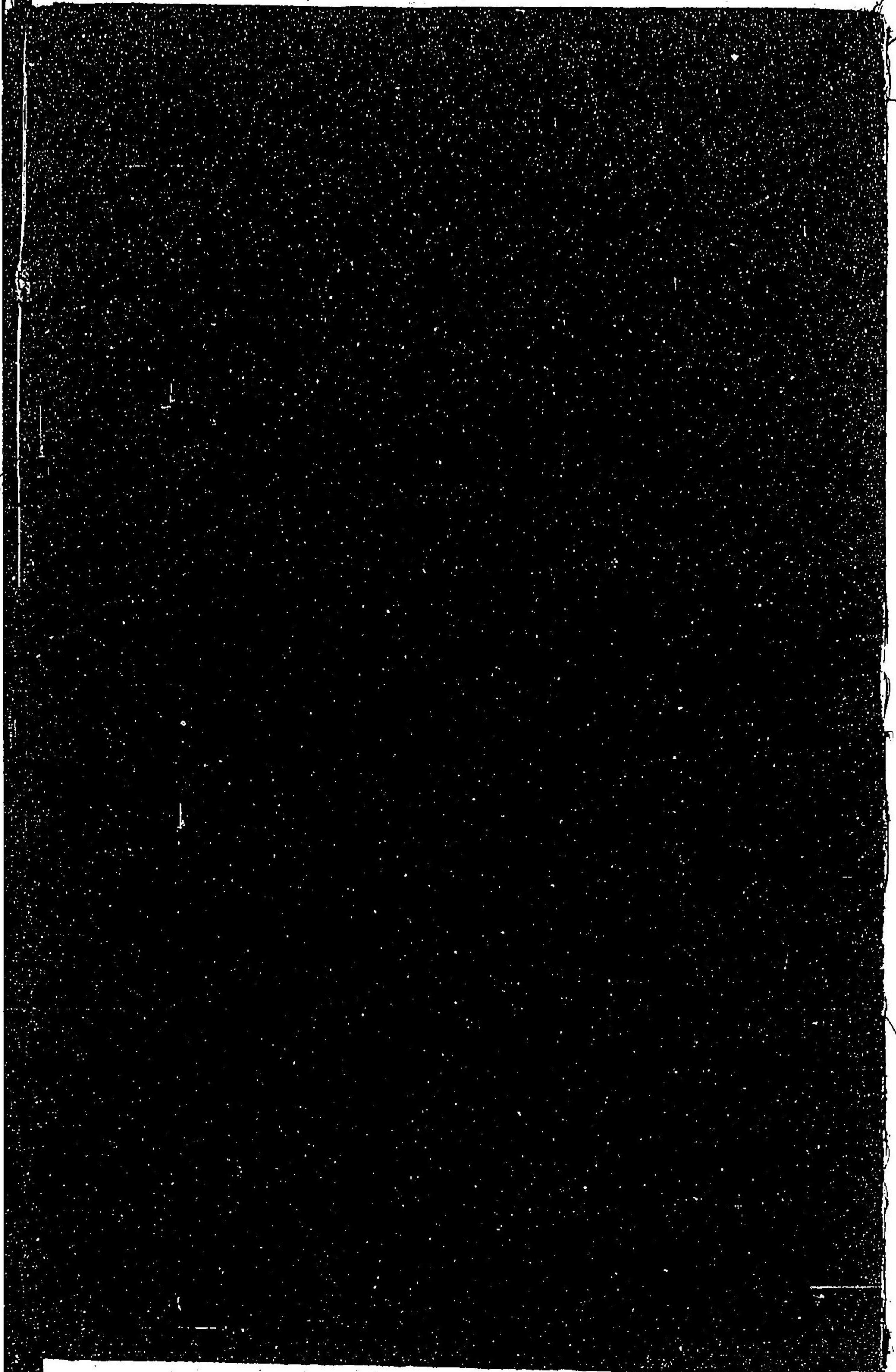














7  
16



